

令和5年度 社会福祉法人愛隣園事業報告書（案）

1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第10章27節

2. 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻の影響などにより、当法人の当期資金収支差額は▲5410万円というこれまでにない大変厳しい結果となった。コロナ禍という特殊な要因があったにしても、時代の潮流は確実に変化し始めており、潮目は大きく変わりつつあるということを実感させられた年でもあった。そして、令和5年度に入ってから、5月8日には新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、我々の日々の生活は通常に戻ったところではあるが、ますます深刻化する人手不足、電気代をはじめとする諸物価の高騰や賃上げの動き、また、労働市場に創造的破壊をもたらす可能性があると言われるAI（人工知能）の登場、さらには、介護業界におけるM&Aの活発化や特養の待機者の減少など、このように社会福祉法人を取り巻く環境が大きく様変わりしつつあるのが実態である。

このような状況の中、全国の社会福祉法人の3割は赤字という調査結果も出ており、社会福祉法人は変わることができるか、消えてしまうのか、それぞれの社会福祉法人は選択のときを迎えていると断言する識者もいるほどである。

当法人においても、令和5年度には、業務の効率化を進めるうえで鍵となる介護記録ソフトや眠りセンサーの導入などのデジタル化を推進するとともに、また、「営業戦略プロジェクトチーム」、「生産性向上プロジェクトチーム」、「コスト削減プロジェクトチーム」の3つのプロジェクトチームを設置し、利用者の獲得、業務の効率化、コスト削減の方策などについて、幅広く議論を重ねながら検討を行い、時代のニーズや変化に合わせた経営の見直しを進めたところである。

しかしながら、このような取組みにもかかわらず、令和5年度の決算状況を見ると、賞与の一部カット等によって当期資金収支差額12,672,211円を何とか確保したものの、この賞与等のカットをしていなければ、2000万円前後の赤字になることが想定されるなど、大変厳しい結果となっている。

収入については、令和4年度と比較すると48,318千円増、令和3年度と比較すると22,374千円増と大幅に伸びてはいるが、支出については、令和4年度と比較すると13,237千円増、令和3年度と比較すると64,513千円となっており、支出の増が、経営を大きく圧迫していることが見て取れるところである。また、収支差額率を見ると、令和5年度決算では4.1%、令和4年度は、コロナの影響もあり1.3%と極端に落ち込んだところであるが、令和3年度では7.8%、ちなみに令和2年度では7.6%となっており、稼ぐ力というものが落ちてきているのは確かである。一方、人件費率については、令和5年度決算では70%とかなり高くなっており、こういった状況を勘案するとまずは人件費を含むコスト管理の徹底によって経営の安定化を図ることが何よりも重要であると考えている。

なお、各事業所の状況については、愛隣こども園にあっては、当期資金収支差額2,848,871円、収支差額率9.5%、ガリラヤ荘では当期資金収支差額が資金移動等によって赤字となっているが実質は31,700,409円の黒字を計上し、収支差額率は8.3%となっている。ただ、ガリラヤ久米については、当期資金収支差額は▲22,835,287円、収支差額率1.8%となっており、このガリラヤ久米の経営状況をどう立て直していくかが、今後の当法人の行く末を左右する重要なポイントになると考

えられる。

以上、大変厳しい決算状況ではあったが、その他、介護職員処遇改善加算の支給方法を6月の賞与支給時に一時金として支給していたのを 手当として毎月支給する方法に改めるとともに、利用者獲得の重要なキーパーソンである居宅介護支援専門員の待遇改善やフレックスタイム制の導入などにも取り組み、職員の「働きやすさ」に重点を置いた労働環境の整備にも努めたところである。

また、資金管理を本部で一括して行う体制にもっていくため、ガリラヤ荘の積立金や手持ち資金を本部へ移管するなどして、本部機能の強化を図ったところでもある。ただ、人的な面での集約化は今後の課題として残っている。

なお、公益的取組の拠点として設置した地域共生センターについては、これまでコロナの影響で思うような活動ができなかったが、5年度は、ガリラヤ荘での「おげんきですか」の発行や「ほっこり喫茶」の営業、「えがお食堂」の開催などに取り組むとともに、また、久米においては「ふらりカフェ」や「ミニふらりカフェ」の開催などを実施し、周辺の地域からは好評を得たところである。

前述のとおり今年度の収支状況は令和4年度に引き続き大変厳しいものであったが、このような今年度の決算状況を振り返ってみると、経営改善に向けた具体的な取組みは、まだまだ不十分であることがよく分かる。令和元年度に本部事務局を設置し、この本部事務局の設置を契機に新たな経営のあり方を抜本的に見直そうとしたが、結局、従来のやり方、仕組みが温存されたままになっていることは否定しえない事実である。

もし、今のような経営状況が続くとすれば、事業そのものが継続できなくなるということは明らかであり、今まさに現状の経営を見直し、変革していくことが当法人に残された唯一の道である。社会福祉法人であっても経営不振に陥れば潰れるかもしれないという強い危機感を持ちながら、経営改善に向けた具体的な取組みを進めていくことが何よりも重要であると考えている。

3. 事業の概要

【沿革】

- ・1930年（昭和5年） 松山市神田町に三津キリスト教会附属「愛隣保育園」開設
- ・1967年（昭和42年）8月 社会福祉法人「愛隣保育園」の法人認可
- ・1972年（昭和47年）11月 社会福祉法人「愛隣園」と名称変更
- ・1973年（昭和48年）4月 現東温市松瀬川に特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」（定員50名）開設
- ・1977年（昭和52年）4月 特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」増設（定員80名）
- ・2000年（平成12年）4月 「ガリラヤ荘」介護老人福祉施設の指定
- ・2008年（平成20年）11月 「ガリラヤ荘」東温市南方1766番地1へ新築移転
- ・2016年（平成28年）4月 「愛隣保育園」松山市三津三丁目6番30号へ新築移転
- ・2017年（平成29年）4月 「愛隣保育園」幼保連携型認定こども園移行により「愛隣こども園」に名称変更
- ・2017年（平成29年）5月 松山市久米窪田町667番地1に高齢者総合福祉施設「ガリラヤ久米」開設
- ・2018年（平成30年）7月 法人の主たる事務所を三津の「愛隣こども園」から久米の「ガリラヤ久米」に移転

【事業】

事業所名	施設長	所在地	定員等
愛隣こども園	羽藤美知子	松山市三津三丁目 6 番 30 号	66 名
ガリラヤ荘	高橋 雅志	東温市南方 1766-1	特養 80 名、ショートステイ 20 名 デイサービス 35 名、その他居宅介護支援事業所、 在宅介護支援センター、訪問介護を運営
ガリラヤ久米	佐々木 忍	松山市久米窪田町 667-1	特養 29 名、ショートステイ 10 名、 グループホーム 18 名、介護付有料 35 名、デイサービス 18 名、その他居宅 介護支援事業所を運営

4. 理事会、評議員会等の開催

(1) 役員・評議員等

【役員：理事 6 名、監事 2 名】

理事長	佐々木信也	理事	佐々木 忍
理事	西川 潤子	監事	和田 政也
理事	長谷川 寿	監事	川中 国和
理事	羽藤美知子		
理事	高橋 雅志		

【評議員 7 名】

評議員	田坂 信一	評議員	乗松 健二
評議員	二宮 秀生	評議員	杉野 典子
評議員	野村 忠秀	評議員	丹 紀代
評議員	別府 頼房		

【評議員選任委員】

評議員選任委員	形上 哲也	評議員選任委員	砂子 治幸
評議員選任委員	西山 裕一		
評議員選任委員	和田 政也		
評議員選任委員	小原 伸広		

(2) 理事会

開催年月日	出席者数		議 案
	理事	監事	
令和 5 年度 第 1 回理事会 4 月 10 日(月)	6 名	1 名	【決議事項】 第 1 号議案 地域共生センターの整備について
令和 5 年度 第 2 回理事会 6 月 9 日(金)	6 名	2 名	【決議事項】 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 4 年度計算書類（決算報告）について —報告事項— 令和 4 年度監事監査報告について 第 3 号議案 介護記録ソフト及び眠りセンサーの導入につ

			<p>いて</p> <p>第4号議案 人事労務ソフトの導入について</p> <p>第5号議案 役員改選（理事・監事）に伴う候補者の推薦について</p> <p>第6号議案 地域共生センターの整備について</p> <p>第7号議案 令和5年度定時評議員会の日程及び議案について</p> <p>—報告事項—</p> <p>1. 資金移動について</p> <p>2. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）</p>
令和5年度 第3回理事会 6月28日(水)	6名	2名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 理事長選任について</p>
令和5年度 第4回理事会 11月15日(水)	6名	1名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 就業規則の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交代制勤務者の時間割の見直しについて ・フレックスタイム制の導入について ・サービスの基本の項目追加について <p>第2号議案 給与規程の一部改正について</p> <p>第3号議案 「愛隣こども園」土地購入について</p> <p>—報告事項—</p> <p>1. 元河野小児科医院の土地建物の購入について</p> <p>2. 理事長の職務執行状況について</p> <p>3. 5年度収支見込について</p> <p>4. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）</p>
令和5年度 第5回理事会 12月12日(火)	6名	2名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 令和5年度第一次補正予算（案）について</p> <p>第2号議案 本部会計施設整備等積立金の取崩について</p> <p>第3号議案 短時間正職員就業規則の一部改正について</p> <p>第4号議案 令和5年度第2回評議員会の日程及び議案について</p> <p>—報告事項—</p> <p>1. 令和5年度デジタル化への取り組み状況について</p> <p>2. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）</p>
令和5年度 第6回理事会 令和6年 3月12日(火)	6名	2名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 令和5年度第二次補正予算（案）について</p> <p>第2号議案 令和6年度理事長報酬（案）について</p> <p>第3号議案 令和6年度事業計画（案）</p> <p>第4号議案 令和6年度当初予算（案）について</p> <p>第5号議案 給与規程の一部改正について</p> <p>第6号議案 「介護職員等処遇改善加算の取扱いに関する</p>

			<p>規程（案）」の制定について</p> <p>第7号議案 運営規程の一部改正について</p> <p>第8号議案 令和5年度第3回評議員会の日程及び議案について</p> <p>—報告事項—</p> <p>1. 理事長の職務執行状況について</p> <p>2. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）</p>
--	--	--	--

(3) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 案
	評議員	役 員	
令和5年度 定時評議員会 6月28日(水)	5名 欠席 2名	理事 6名 監事 2名	<p>【報告事項】</p> <p>令和4年度事業報告</p> <p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 令和4年度計算書類等（決算報告）の承認について</p> <p>報告事項 令和4年度監事監査報告について</p> <p>第2号議案 役員（理事・監事）の改選について</p> <p>【報告事項等】</p> <p>1. 人事労務ソフト及び介護記録ソフト・眠りセンサーの導入について</p> <p>2. 地域共生センターの整備について</p> <p>3. 資金移動について</p> <p>4. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）</p>
令和5年度 第2回評議員会 令和6年 1月15日(月)	6名 欠席 1名	理事 6名 監事 2名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 令和5年度第1次補正予算（案）について</p> <p>【報告事項等】</p> <p>1. 元河野小児科医院の土地購入について</p> <p>2. 愛隣こども園駐車場用地購入について</p> <p>3. 令和5年度デジタル化への取り組み状況について</p> <p>4. ガリラヤ荘の特殊浴槽の更新について</p> <p>5. フレックスタイム制の導入について</p> <p>6. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）</p>
令和5年度 第3回評議員会 令和6年 3月25日(月)	7名	理事 6名 監事 2名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 令和5年度第2次補予算（案）について</p> <p>第2号議案 令和6年度理事長報酬（案）について</p> <p>第3号議案 令和6年度事業計画（案）について</p> <p>第4号議案 令和6年度当初予算（案）について</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. ガリラヤ久米行政指導監査結果について</p> <p>2. 現況報告（本部・こども園・ガリラヤ荘・ガリラヤ久米）</p>

5. 監事監査

令和5年6月2日（金）に、和田政也及び川中国和の両監事により令和4年度事業報告及び当該年度に係る計算書類関係に基づき業務及び財務の状況について監査が実施された。

6. 本部事務局体制

局長、次長、総務企画担当主任1名、会計担当主任1名、事務職員1名の計5名体制で、法人運営のほか財務会計、人事労務、企画等の事務を処理。人員体制については、途中、入退職（入職1名、退職3名）があり、現在、3名体制となっている。

- ・法人運営：理事会、評議員会の運営等
- ・財務会計：決算、予算管理、財産管理、経理等
- ・人事労務：新卒採用、人事管理、労務諸規程の制定・変更等、研修、勤怠管理、給与支給等
- ・経営企画：法人全体及び各事業所の経営分析、中期経営計画の策定、その他各種企画立案

7. 会議等の開催

(1) 幹部会（理事長、事務局長、園長、施設長、地域共生センター長、事務局次長）

開催日	議 事 内 容
第1回 5月9日（火）	1. 5月の行事予定について 2. 令和4年度決算見込み及び令和5年度4月分執行状況について 3. 令和5年度人件費の管理について 4. デジタル化のスケジュールについて 5. プロジェクトチームの設置について 6. 法人研修について 7. その他（互助会、衛生委員会、危機管理委員会等）
第2回 6月9日（金）	1. 6月の行事予定について 2. 令和5年度4月～5月分の執行状況について 3. 介護記録ソフト等の導入に伴う補助金の申請について 4. プロジェクトチームの活動について 5. 介護報酬改定に伴う対応方針について 6. その他（初任者研修等の日程）
第3回 7月19日（火）	1. 7月及び8月の行事予定について 2. 令和5年度4月～6月分の執行状況について 3. 介護記録ソフト等の導入に伴う補助金の申請について 4. 経営安定化に向けたコスト削減の具体的目標について 5. デジタル人材（ITリーダー）の育成について 6. 太陽光発電について 7. 組織の見直しについて 8. その他（衛生委員会等の日程）
第4回 8月2日（水）	1. 8月及び9月の行事予定について 2. 令和5年度4月～7月分の執行状況について 3. 組織及び人事制度の見直しについて 4. 社会福祉法人愛隣園のパンフレット作成について 5. その他（四国医療サービス等からの値上げ要請等） ※終了後、(株)オレンジシステム兵頭社長による、人事労務ソフト導入にかかる説明会を開催

第5回 9月6日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 9月及び10月の行事予定について 2. 令和5年4月～8月分の執行状況について 3. 洗濯及び給食の業務委託費の値上要請について 4. その他(デジタル研修、権利擁護委員会等の日程)
第6回 10月4日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10月及び11月の行事予定について 2. 令和5年度4月～9月分の執行状況について 3. 各プロジェクトの進捗状況の報告について <ul style="list-style-type: none"> ・営業戦略プロジェクト(小原部長) ・生産性向上プロジェクト(二神部長) ・コスト削減プロジェクト(砂子次長) 4. 元河野小児科医院の購入について 5. 収支改善の取組み方策について 6. ケアマネの活動強化について 7. その他(BCP研修等の日程)
第7回 11月8日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10月及び11月の行事予定について 2. 法人経営の現状について <ul style="list-style-type: none"> ・上半期(4月～9月)決算状況、5年度決算見込み等 3. ケアマネの待遇改善について 4. ICT化への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボット導入支援事業費補助金及びICT機器導入促進事業費補助金の申請関係 5. デジタル研修について 6. 法人パンフレットの作成について 7. その他(理事会・評議員会の日程)
第8回 12月4日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 12月及び6年1月の行事予定について 2. 令和5年度4月～10月の収支状況について 3. 5年度冬季賞与の支給について 4. 5年度補正予算及び6年度当初予算の作成方針について 5. 短時間正職員制度の運用について 6. デジタル研修について 7. 法人パンフレットの作成について 8. その他(ユニセフ募金への協力等)
第9回 令和6年 1月9日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年1月及び2月の行事予定について 2. 令和5年度4月～11月の執行状況について 3. 令和6年度に向けた重点取組事項について 4. 処遇改善加算について 5. その他
第10回 令和6年 2月7日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年2月及び3月の行事予定について 2. 令和5年度4月～12月の執行状況について 3. 令和6年度当初予算について 4. 令和6年度組織改正及び人事異動について 5. 処遇改善加算について 6. 外国人雇用について 7. その他(法人パンフレット、募金等)

第11回 令和6年 3月6日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年3月及び4月の行事予定について 2. 令和5年度第2次補正予算について 3. 令和6年度当初予算について 4. 第9期介護保険事業計画概要について 5. 居宅ケアマネの待遇改善について 6. 令和6年度人事異動について 7. 令和6年度デジタル化について 8. 令和6年度新規採用方針について <ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒(5年度:3名) ・外国人雇用(5年度:留学生1名、4年度:技能実習生4名、留学生1名、3年度:留学生1名 計7名) 9. 処遇改善加算の取扱い規程について 10. その他(パンフレット、募金、6年度入職式等)
-------------------------	---

(2) 経営会議 (理事長、理事、事務局長、園長、施設長、部長、事務局次長)

開催日	議 事 内 容
第1回 4月25日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会等各種会議の開催について 2. 令和5年度法人研修の実施について 3. 新型コロナ対策について 4. 令和5年度の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・永眠者祈念会及び感謝祭の実施 ・ガリラヤ荘開設50周年事業の実施 ・経営の安定化に向けた取り組み 6. 今後のスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・決算書等本部への提出(5月24日) ・理事会、評議員会の日程 7. その他(広報誌の発行等)
第2回 11月8日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度収支状況の見込みについて <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の状況を踏まえた令和6年度取組み方針 2. 就業規則の一部改正について <ul style="list-style-type: none"> ・フレックスタイム制の導入等 3. 令和6年度概算要求の状況について 4. プロジェクトチームの活動状況について <ul style="list-style-type: none"> ・営業戦略プロジェクトチーム ・生産性向上プロジェクトチーム ・コスト削減プロジェクトチーム 5. その他
第3回 令和6年 2月29日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度収支状況について <ul style="list-style-type: none"> ・第2次補正予算の概要 2. 令和6年度法人事業計画及び当初予算について 3. 人事異動の方針について 4. プロジェクトチームの活動状況について <ul style="list-style-type: none"> ・営業戦略プロジェクトチーム ・生産性向上プロジェクトチーム ・コスト削減プロジェクトチーム 5. その他

(4) 事務局会議（事務局長、次長、事務職員）

開催日	議事内容
第1回 5月31日（水）	1. 令和4年度決算状況について 2. コスト削減について 3. 令和5年度重点取組事項について 4. その他（意見交換）

(5) 危機管理委員会

危機管理委員会メンバー：理事長、本部事務局長、次長、各事業所施設長、部長、課長、防火管理者等

開催日	議事内容
第1回 5月31日（水）	1. BCP（基本計画）について 2. 各事業所における防災対策について 3. 今後の防災対策における課題について 4. その他

(6) ガリラヤ荘・ガリラヤ久米安全衛生委員会合同会議（安全衛生委員会メンバー）

開催日	議事内容
第1回 7月21日（金）	1. 安全衛生管理体制について 2. 令和4年度ストレスチェック及び健康診断の状況について 3. 令和5年度の取り組み方針について 4. その他

8. 事業収支及び資産の状況

【資金収支計算書】

（単位：千円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
① 事業活動収入	1,141,330	1,169,878	1,143,935	1,192,252
② 人件費	785,280	799,943	827,235	835,305
③ 人件費率（②/①）	68.8%	68.4%	72.3%	70.0%
④ 事業費等	269,378	278,233	302,222	307,388
⑤ 事業活動支出	1,054,658	1,078,176	1,129,457	1,142,693
⑥ 事業活動資金収支差額（①—⑤）	86,672	91,702	14,478	49,559
⑦ 収支差額率（⑥/①）	7.6%	7.8%	1.3%	4.1%
⑧ 施設整備等資金収支差額	▲54,563	▲65,830	▲83,529	▲83,106
⑨ その他の活動資金収支差額	▲11,234	▲8,166	14,946	46,219
⑩ 当期資金収支差額	20,874	17,706	▲54,105	12,672
⑪ 前期末支払資金残高	622,397	643,271	660,978	606,873
⑫ 当期末支払資金残高	643,271	660,978	606,873	619,545

【資産・負債の状況】

（単位：千円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
① 流動資産	688,140	709,032	667,976	695,803
② 固定資産	2,171,094	2,072,743	1,976,863	1,882,732
③ 資産合計	2,859,234	2,781,775	2,644,839	2,578,535

④ 流動負債	192,699	196,968	185,794	186,507
⑤ 固定負債	1,690,900	1,616,067	1,540,337	1,463,295
⑥ 負債合計	1,883,599	1,813,035	1,726,131	1,649,803
⑦ 純資産	975,635	968,740	918,708	928,732
⑧ 流動比率 (①/④)	357.1%	360.0%	359.5%	373.0%
⑨ 純資産比率 (⑦/③)	34.1%	34.8%	34.7%	36.0%

9. 法人借入金状況

(単位：千円)

事業所	借入先	利率	期首残高	当期借入額	当期償還額	期末残高
愛隣こども園	福祉医療機構	0.75%	94,112	0	4,152	89,960
	福祉医療機構	0.05%	22,848	0	1,008	21,840
	伊予銀行	0.65%	26,350	0	1,140	25,210
	小計		143,310	0	6,300	137,010
ガリラヤ荘	福祉医療機構	1.80%	55,970	0	5,260	50,710
	伊予銀行	0.40%	390,152	0	24,768	365,384
	愛媛銀行	0.40%	31,560	0	3,540	28,020
	小計		477,682	0	33,568	444,114
ガリラヤ久米 (有料含む)	福祉医療機構	0.95%	412,704	0	17,196	395,508
	愛媛銀行	0.45%	540,800	0	22,200	518,600
	小計		953,504	0	39,396	914,108
合計		1,574,496	0	79,264	1,495,232	

10. 主な修繕及び備品等の購入状況 (100万円以上)

(単位：円)

区分	内容	金額
愛隣こども園	西側駐車場の拡張及び整備費 (固定資産) ※土地代、仲介料、整備工事費	10,954,500
ガリラヤ荘	・ iPad 及びノートパソコン (備品)	1,588,266
	・ ベッドキャスター26台分 (修繕)	1,777,776
	・ wi-fi 設置費 (固定資産)	5,555,000
	・ 眠リスキャン30台 (固定資産)	3,517,140
ガリラヤ久米 (有料含む)	・ 移動用リフト4台 (固定資産)	1,438,400
	・ wi-fi 設置費 (固定資産)	3,915,200
	・ 眠リスキャン39台 (固定資産)	4,572,282
本部	土地購入代 (松山市久米窪田町 781-3) (固定資産)	15,561,000
合計		43,330,119

11. 利用者の状況

施設・事業名		定員	年間延べ利用者数	1日平均利用者数
愛隣こども園		66	20,836	71.1
ガリラヤ荘	特養入所	80	28,043	76.6
	ショートステイ	20	5,535	15.1
	デイサービス	35	7,837	25.2
ガリラヤ久米	特養入所	29	10,325	28.2
	ショートステイ	10	2,996	8.2
	デイサービス	18	4,156	13.4
	グループホーム	18	6,427	17.6
	介護付有料	35	11,502	31.4

12. 職員の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 職員配置

(単位：人)

区分	本部			愛隣こども園			ガリラヤ荘			ガリラヤ久米			合計		
	期首	期末	増減	期首	期末	増減	期首	期末	増減	期首	期末	増減	期首	期末	増減
正規職員	3	1	-2	16	17	+1	74	70	-4	61	58	-3	154	146	-8
準職員	2	3	+1				42	43	+1	24	22	-2	68	68	0
非常勤/パート				11	11	0							11	11	0
合計	5	7	-1	27	28	+1	116	113	-3	85	80	-5	233	225	-8

(2) 職員構成（職種、事業所別）

(単位：人)

区分		本部	こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	計
施設長・局長・ 園長等	正規職員		1	1	1	3
	準職員/パート	2				2
統括部長・ 次長	正規職員			1	1	2
	準職員/パート	1				1
事務職員	正規職員	1		3	2	6
	準職員/パート		1			1
保育教諭	正規職員		13			13
	準職員/パート		8			8
生活相談員	正規職員			3	5	8
	準職員/パート					
介護職員	正規職員			55	42	97
	準職員/パート			24	14	38
看護職員	正規職員		1	4	4	9
	準職員/パート			10	3	13
主任介護支 援専門員	正規職員			(1) ※部長兼務	1	1(1)
	準職員/パート					
介護支援専 門員	正規職員			3	1	4
	準職員/パート			1		1

区 分		本 部	こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	計
言語聴覚士	正規職員			1		1
	準職員/パート					
管理栄養士	正規職員			1	1	2
	準職員/パート					
栄養士	正規職員					
	準職員/パート					
調理員	正規職員		2			2
	準職員/パート		2			2
用務員等	正規職員					
	準職員/パート			6	5	11
合 計	正規職員	1	17	72	58	148
	準職員/パート	3	11	41	22	77

注) 兼務職員については、主たる職務へカウント

(3) 離 職 率 (1年間の退職者数を年度当初の在籍者数で割ったもの)

区 分	当 初	退職者数	離職率	4年度離職率	3年度離職率
愛隣こども園	27	3	11.1%	7.4%	7.6%
ガリラヤ荘	116	6	5.2%	6.0%	5.9%
ガリラヤ久米	85	10	11.8%	19.0%	9.7%
本 部	5	3	60.0%	25.0%	0.0%
法人合計	233	21	9.0%	11.2%	7.4%

13. 外国人の受け入れ

- 令和4年度の外国人の受け入れについては、アルバイトとして受け入れていた留学生の中国籍の男性1名は卒業に伴い正規の介護職員として採用。留学生からの受け入れは、そのほかベトナム籍の女性1名を雇用している。なお、留学生のネパール国籍の女性1名はアルバイトとして雇用しており、5年度には正規職員として雇用。

また、4年11月にはフィリピンからの技能実習生として4名の女性を採用。結果、外国人の受け入れは、現在、4か国からの計7名となっている。

- なお、当法人では、令和元年度に河原医療福祉専門学校と提携して、介護を学ぶ留学生を対象に生活費及び学費の援助を目的とした奨学金貸与制度を設けたところであり、卒業後は当法人の介護施設に勤務することとしている。

※奨学金貸与制度の内容

2年間の在学中、毎月37,500円(2年間で900,000円)を貸与、卒業後は、介護福祉士の資格を取得し当法人に5年間勤務した場合、返済は免除

- さらに、技能実習生の受け入れにあたって、各種手続き等を担う監理団体については、フィリピンからの受け入れを専門としている「日比介護国際協同組合(平成29年11月設立)」令和元年10月に加入しているところである。

14. 職員研修

各事業所では、職員の保育や介護技術のスキルアップを目指して外部研修に積極的に参加するほ

か内部での専門研修をきめ細かく実施しているほか、福祉を取り巻く厳しい環境の変化に対応していくためには、これらの専門研修に加えて、以下のとおり組織運営のマネジメントスキル向上を目指した階層別研修などにも取り組んでいる。

○管理職研修

日時 : 令和5年9月6日(水) 13時00分～15時00分
参加者 : 理事長、施設長、部長、課長、係長等 21名
講師 : 友近昭彦氏(いよぎん地域経済研究センターコンサルティング部長)
テーマ : 管理職に求められる役割

○ネクストリーダー研修

日時 : 令和5年11月20日(月) 13時30分～16時30分
参加者 : 中堅職員(入職5年～10年、主任、副主任を含む) 18名
講師 : 天野淑子氏(一般社団法人スキルドエヒメ代表理事・ジョブカフェ愛媛 専任講師)
テーマ : リーダーのコミュニケーション
～前向きに主体的に仕事に取り組む～

○初任者研修

日時 : 令和5年11月20日(月) 13時30分～16時30分
参加者 : 中堅職員(入職5年～10年、主任、副主任を含む) 18名
講師 : 天野淑子氏(一般社団法人スキルドエヒメ代表理事、ジョブカフェ愛媛 専任講師)
テーマ : リーダーのコミュニケーション
～前向きに主体的に仕事に取り組む～

○BCP研修

日時 : 令和5年11月6日(月) 14時00分～16時00分
参加者 : 危機管理委員会構成メンバー 15名
講師 : 西川昌祐氏(中小企業診断士/ITコーディネーター、NPO法人ITC愛媛監事、介護労働安定センター専任講師)
テーマ : 災害対策BCP運用のポイント

2023年度(令和5年度)事業報告

愛隣こども園

1. 保育・教育の目的

キリスト教主義の保育・教育理念、方針、目標に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法において保育・教育をおこなった。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準
第5章第32条より第36条を遵守した。

理念 多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育することで他者と共に生きることのできる子どもに育てる。
「自分を愛するように あなたの隣人を愛しなさい」(聖書のことばから)

方針 1「地域の人々と共に」 過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。
2「基本的習慣を身につけ養う」 他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を大切にすることを育てることであります。

目標 1. 基本的生活習慣を身につけよう。
2. 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
3. 自分を豊かに表現できる子どもになろう。
4. 主体的に活動できる子どもになろう。

2. 児童数

2023年度は、定員66名に対して75名でスタートし、最終84名で終える。

定員が66名であるが、4月当初より定員を超過して受け入れ、また年度途中で育休復帰の0歳児を主に受け入れた。第一希望や当園のみで申し込んでくださる方が多く嬉しいことであるが、待機児童も一年を通している。

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計		総合計	備 考
	3号	3号	3・2号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	3・2号	1号			
4月	3	12	12	14	1	12	3	16	2	69	6	75		内、新入園児12名		
5月 7月	5	12	12	14	1	12	3	16	2	71	6	77		0歳児2名 入園		
8月 11月	6	12	12	14	1	12	3	16	2	72	6	78		0歳児1名 入園		
12月	7	14	12	14	1	12	3	16	2	75	6	81		0歳児1名、1歳児2名入園		
1・2月	8	14	12	14	1	12	3	16	2	76	6	82		0歳児1名 入園		
3月	9	14	13	14	1	12	3	16	2	78	6	84		0歳児1名、2歳児1名 入園		

2024年3月31日現在

3. 職員数

職員の状況は、年度途中の6月に1名、2月に1名それぞれ家庭の都合で退職する。4月当初に4名(正規1名、臨時2名、パート1名)採用していたが、途中入所や職員の働き方等もあり、補充する。年度末に勤続年数11年の職員が退職となる。

(参考…2024年度 正規職員1名・臨時職員1名補充)

月	園長	保育教諭			看護師	保育補助	調理員			事務員	合計			備 考
		正規	正規	非常勤	パート	正規	パート	正規	非常勤	パート	非常勤	正規	非常勤	
4月 5 6月	1	21			0	0	4			1	27			保育教諭の内、正規1名、非常勤2名、パート1名、4月1日採用 保育教諭正規1名育休
		13	5	3	0	0	2	1	1	1	16	7	4	
7月 10月	1	20			0	1	4			1	27			保育教諭非常勤1名、6月末退職、 保育補助パート1名、7月採用
		13	4	3	0	1	2	1	1	1	16	6	5	
11月	1	21			0	1	4			1	28			保育士パート1名(10月23日)採用、 保育教諭臨時1名(10月18日)産休
		13	4	4	0	1	2	1	1	1	16	6	6	
12月 2月	1	21			1	1	4			1	29			看護師1名(12月1日)採用 保育教諭短時間正規1名(1月1日) 育休復帰
		13	4	4	1	1	2	1	1	1	17	6	6	
3月	1	20			1	1	4			1	28			保育教諭非常勤1名、2月末退職
		13	3	4	1	1	2	1	1	1	17	5	6	

2024年3月31日現在

4. 保育・教育内容について

コロナ感染症がゴールデンウィーク明けから5類に移行したことで、濃厚接触者を特定しないことにより、家庭内に感染者がいても、家庭で見える人がいなかったり、保護者より保育をお願いされたら断れないということもあって、移行した直後は切り換えが難しかった。家族に感染者がいる場合は、できるだけ家庭でみてもらったり、どうしても時は、個別保育の形をとり、感染拡大の予防に努めた。また、コロナ禍はクラス別保育が主になっていたが、感染症等が落ち着いている時は、縦の交流を大切に異年齢の園児と関わりあうことで、思いやりの気持ちや社会性や協調性が育まれるように意識した。

- ・ 0歳児は、計画的に途中入園を受け入れた。若い職員のチームだったが、個々にじっくりと丁寧に関わり愛着関係も築くことができ、予想する以上に落ち着いた中で生活することができていた。
- ・ 1歳児は、中堅と新採のペアであったが、クラスがなかなか落ち着かず、かみつき等子どもたち同士のトラブルが多発する。1歳児が2名、途中入園したため、1月からベテラン職員を配置した。そのことによりトラブルは激減し、子どもたちも少しずつ言葉でも表現しはじめ、クラス全体も安定した。
- ・ 2歳児は、前半は自己主張が激しく、またいやいや期も重なり、担任だけでは行き届かないところもあり様々な職員も関わったりする。運動会を終えたころから、クラスにまとまりができてきて、後半はのびのびと生活できていた。
- ・ 3歳児は発達が緩やかな子どもに対して充分に対応できなかったことを反省する。担任の補助役を固定できなかったことも一つの原因だと思われる。
- ・ 4歳児は今年度より支援の必要な園児を2名受け入れたことで、加配をつけて2人担任とした。2人ということできっと関わることができたが、子どもたちの中で育ち合うことに大人が手を出しすぎたこともあり、反省する。
- ・ 5歳児はまとまりのあるクラスで様々な行事で園の最年長としての姿がみられた。担任が先を見通して物事に取り組むことが十分にできなかったことは、今後の課題である。
- ・ 各行事は時間短縮や人数制限は殆ど設けず行うことができた。特に運動会は、コロナ禍の時の二部制ではなく全クラスで行ったが、各年齢の種目が見られ成長を知ることができたと好評であった。また、敬老参観日もコロナ禍以降はじめて行い祖父母の方々が喜んでくださる。愛隣バザーは近隣の方々に声をかけ、出向いてくださり地域との交わりができたことは良かった。

5. 保護者との連携

ICT化に移行して、コドモンアプリを活用する。行事の案内やお知らせ等は一斉メールでお知らせすることによりいつでも配信できたり、プリントの渡し忘れがなかったりと利点があった。また、コストの面からもコピー用紙代、カウント料金等少しではあるが減らすことができた。また、2022年度までは、お休み等の連絡は、電話連絡であったが、アプリで連絡が入るようになった。登降園の管理もアプリでするため、保護者とのコミュニケーションが十分にできなくなるのではと懸念していたが、朝の忙しい時間帯の欠席の電話連絡が減ったり、登降園の管理がしっかりでき、職員もiPadで確認できるので情報共有がタイムリーにできるようになった。この点でも効率化でき、その分保護者対応にあてることができた。

保護者との連携は、連絡ノートやお迎えの時間帯に日々の状況を伝えている。また個別に対応が必要なところは面談の時を持ち、保護者の思いを聞くようにした。新入園児は、入園前の面接の時から丁寧に話を聞き、入園後は家庭訪問を通して周囲や家庭の環境等の把握に努める。いつでも悩み等相談ができるような雰囲気づくりを心がけたり、少しでも気になる保護者がいたらこちらから声をかけるようにした。

6. 設備等について

- ・保育所施設設備整備等積立金11,000,000円取崩す
 - 隣接地を購入し、駐車場として工事をする
- ・施設機能強化推進費を活用
 - 避難車兼お散歩車(137,500円)
- ・延長保育事業補助金を活用
 - 給食展示台(134,200円)、ブルーレイレコーダー(76,780円)、
絨毯4枚(176,000円)、子ども用机4台(256,000円)

行事的保育・教育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他
4月1日	土	入園式 新型コロナ感染拡大防止のため検温・消毒・換気等を行い、以前の形に戻して行う。式は三津教会 森分望 牧師の祈りにより始める。理事長、園長挨拶、各組担任による園児の紹介、職員の出し物を行う。各クラスの集まりも再開し記念写真も久しぶりに撮影する。保護者会の役員選出は年長児のクラスで行い、第一回の役員会は別日に行う。参加者:85名
5月10日	水	歯科検診 医師 道田 里美氏 10:00～12:00
5月11日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
5月20日	土	歓迎遠足 伊予市 しおさい公園 参加者:106名
5月29日	月	芋苗付け 祓川にある三津教会員土居さん所有の空き地を畑にする。
6月14日	水	花の日 三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。保護者会、園で用意したお花をクラスに分かれてご近所や、公共施設に届ける。
6月 ↓ 8月	月 水 金	保育参観 9:30～13:00頃まで体験型の参観をする。
7月4日 ↓ 7月7日	火 金	
7月22日	土	年長児モンテッチ海岸海水浴 (くま組18名 引率者:職員…7名)
7月25日	火	松山市指導監査 13:30～
8月1日	火	愛媛県立松山西中等教育学校 家庭科クラブ 来園
8月9日	水	交通安全教室
8月22日 ↓ 8月25日	火 金	高浜中学校2年生5名 職場体験
8月29日		
8月29日		三津浜児童クラブと交流 10:30～11:15
9月16日	土	敬老参観日 検温、消毒、換気等を行い、以前の形に戻して行う。参加者:82名 子どもたちの歌やハンドベル、職員の劇、フラメンコスタジオ ‘エストウディオ・ラ・フエンテ’のフラメンコショー等の催し物を楽しむ。
9月27日 ↓ 9月28日	水 木	人間環境大学小児看護学実習 3年生 5名来園
10月10日 ↓ 10月13日	火 金	
		愛媛県立松山工業高校 2年生 インターンシップ 1名来園

月 日	曜日	行事的保育・教育活動 他
10月23日	月	人間環境大学 地域・在宅看護学実習 3年生 4班に分かれ一日づつ計15名来園
10月26日	木	
10月25日	水	アンパンマントロッコ列車遠足 くら組(5歳児)参加…他園と一緒に波方公園へ
10月27日	金	派遣研修 横浜市 ゆめ和ほいくえんより来園 理事長兼園長、保育士2名
10月28日	土	
10月28日	土	運動会 大可賀公園でコロナ前の形で行う。 9:00～12:15 感染防止をとりながら親子ゲームをはじめ小学生、祖父母、未就園児のゲーム等も用意する。また、地域の方々も見に来てくださる。 参加者:265名 + 地域の方々
11月1日	水	芋ほり 全クラスで祓川の芋畑で行い、そのあと給食弁当を祓川公園で食べる
11月6日	月	聖カタリナ短期大学保育実習 1年生 2名来園
11月17日	金	
11月7日	火	三津浜小学校おもちゃランド 年長児参加 校区内の保育園、幼稚園合同
11月8日	水	人間環境大学小児看護学実習 3年生 2名来園
11月9日	木	
11月9日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
11月10日	金	歯科検診 医師 道田 里美氏 10:00～12:00
11月11日	土	親子遠足 藤山健康文化公園 (大型バス2台) 参加者:120名
11月22日	水	感謝祭 三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 家から持ち寄った果物・野菜をクラスに分かれてご近所や、公共施設に届ける。
12月2日	土	愛隣バザー 10:00～14:00 地域の方々にも案内をする。 保護者会と一緒に計画しコロナ前の形で行う。 田村裕子氏による砂絵アートをみんなで見る。 親子で製作のコーナーや玩具で遊ぶコーナーを設ける。 (4,5歳児の手作りクッキー、職員の焼きたこ焼き、ポップコーン わたがし、給食室のカレーライスの販売⇒収益は保護者会へ)
12月4日	月	津田中学校2年生2名 職場体験
12月6日	水	
12月23日	土	クリスマス祝会 10:00～11:30 消毒、換気等をして降誕劇、礼拝をする。(三津教会森分牧師) 保護者参加者:137名
1月・2月		各火曜日 … 体操教室参観日 (2歳児・年少児・年中児・年長児) 各木曜日 … 英語教室参観日 (年中児・年長児)

月日	曜日	行事的保育・教育活動 他
1月24日 S	水	} 派遣研修 横浜市 ゆめ和ほいくえんより来園 理事長兼園長、保育士2名、理事1名、監事1名
1月26日	金	
3月9日	土	遊戯会 9:15~11:45 消毒、換気等をして制限を設けず行う。 保護者参加者:148名 新入園児面接 14:00~
3月19日	火	くま組お別れ遠足 北吉田公園 (くま組18名 引率者:職員…3名)
3月26日	火	くま組お別れ会 在園児が年長児を送る
3月30日	土	卒園式 10:00~11:00 卒園児家族参加者:59名

※ 誕生会 … 毎月1回 感染症の状況でクラス別でしたり、合同でお祝いしたりする。

※ お弁当給食 … 毎月1回 (家庭で用意していただいた弁当箱に給食を詰めて園内、園外で食べる)

※ 避難訓練 … 毎月1回(総合訓練2回) ※ 身体測定 … 毎月1回

▶新たに人間環境大学の地域・看護学実習を引き受ける。また、高校生のインターンシップも初めてであった。中学校も近隣の3校の職場体験を引き受けたり、高校生のボランティアや短大生のアルバイト等の希望もあり、学生たちの関心、興味に応えられるように努めた。これが先の人材確保につながればと思う。人間環境大学は看護師になるために学んでいる学生が殆どで、なかなか直接つながることは難しいが、学ぶ学生たちに環境を提供することができた。

7. 特別保育事業

- ①一時預かり事業 … 家庭で保育を受けることが困難となった乳児または幼児について、主に昼間、保育所や幼稚園等で一時的に子どもを保育する事業をいう。

一時預かり保育延人数(基本は月～金 8:30～17:00 土曜保育、延長保育は要相談)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	22	22	26	25	26	27	30	35	31	33	33	36	346
延人数	153	167	225	193	195	204	222	219	205	185	195	207	2,370

参考:2022年度実人数合計 317人 延人数合計 2,194人

※前年度と比較すると実人数、延人数共に上回っている。理由としてコロナ感染症が5類に移行され、キャンセルや自粛をされる方が減ったことが考えられる。リフレッシュでの利用は減ってきており、仕事をしている方の利用が増えているので、利用時間も長くなっている。ここ最近はや育休復帰にともなうどこにも入園できずやむなく一時預かりを利用する方が多くなっていると感じる。また、利用調整も行っているため、かけもちして他園を利用している家庭もある。入園できないで受けられるサービスに格差(延長保育の利用、土曜保育の利用、アレルギー対応等)がないよう一時預かりを利用していただく家庭にもできるだけ丁寧に寄り添うように努めていることで、利用者からは良い評価を受けている。

- ②延長保育事業 … 延長保育とは保育園等が提供している従来の預かり時間の範囲を延長して行う保育サービスのこと。

延長保育事業延人数(基本は月～金 18:00～19:00 の利用者)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
未満児	53	80	50	53	43	45	48	53	39	51	63	52	630
3歳児	4	19	13	14	11	12	15	11	16	11	26	17	169
4歳児以上	33	50	41	46	40	39	40	35	28	26	35	28	441
合計	90	149	104	113	94	96	103	99	83	88	124	97	1,240

参考:2022年度延人数合計1,581人(未満児:558人 3歳児:338人 4歳児以上:685人)

※2022年度と比較すると利用児は減っているが未満児の利用児は多かった。そのためおやつ提供の時や、遊びの展開の時は担当もより丁寧に行う。

2022年度の補助金で設置した絵本コーナーは上手に活用できている。

- ③地域子育て支援拠点事業 … 地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図り、全ての子育て家庭を地域で支える取組である。

▶地域交流室(センタールーム)、園庭開放 : 月曜日～金曜日 10:00～15:00

様々な玩具や絵本をそろえて親子でゆったりと自由に遊べるよう開放している。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
利用者	参加組	40	35	42	34	35	59	63	81	70	52	77	81	669
	子ども	49	43	46	37	36	66	70	84	77	58	88	88	742
	保護者	40	36	42	35	36	52	63	81	71	52	79	82	669

▶育児講座：月1回程度、製作等を中心に育児や生活が楽しくなるような内容や保護者の関心のある活動を取り入れ、園の地域交流室で実施する。

月	活動内容	利用者			月	活動内容	利用者			
		参加組	子ども	保護者			参加組	子ども	保護者	
4	園庭遊び	3	3	3	10	運動会(大可賀公園)	24	24	24	
5	カスタネット作り	6	6	6	11	ポットン落とし作り	4	4	5	
6	運動遊び	5	5	5	12	クリスマスブーツ作り	5	6	5	
7	水遊び	5	5	5	1	運動遊び	5	6	5	
8	水遊び	4	4	4	2	お話し会	5	6	5	
9	ベビーダンス	6	6	6	3	遠足(大可賀公園)	4	4	4	
10	運動会ごっこ	10	10	10	合計			86	89	87
参考:2022年度 合計							27	27	27	

※2023年度はコロナウイルスが第5類に移行し、様々な制限が緩和されたこともあり、昨年度よりも参加家庭数が3倍になった。外部からの講師も呼ぶことができ、行ったベビーダンスの講座は大変好評であった。

【 あかちゃん広場 】

(三津浜、高浜公民館にて0歳児対象で活動の場を提供)

月	三津浜公民館			高浜公民館		
	参加組	子ども	保護者	参加組	子ども	保護者
4	1	1	1	4	4	4
5	3	3	3	2	2	2
6	5	5	5	1	1	1
7	4	4	4	5	5	5
8	4	4	4	1	1	1
9	5	5	5	3	3	3
10	5	5	5	3	3	3
11	5	5	5	4	4	4
12	4	5	4	5	5	5
1	4	4	4	4	4	4
2	6	6	6	4	4	4
3	4	4	4	4	4	4
合計	50	51	50	40	40	40

【 親子ふれあい広場 】

(三津浜、高浜公民館にて1～3歳児対象で活動の場を提供)

月	三津浜公民館			高浜公民館		
	参加組	子ども	保護者	参加組	子ども	保護者
4	7	7	7	2	2	2
5	3	4	3	5	6	5
6	6	6	6	1	1	1
7	6	6	6	3	3	3
8	3	3	3	2	2	2
9	5	6	5	3	3	3
10	3	4	3	4	4	4
11	7	9	7	3	4	3
12	4	5	4	4	5	4
1	7	8	7	4	5	4
2	5	7	5	5	5	5
3	6	8	6	5	6	5
合計	62	73	62	41	46	41

【 相談件数及び内容 】

▷情報提供 … 4件 ・他の支援センターや児童館の場所 ・一時預かりの利用の仕方

※三津地区担当の保健師さんに園のパンフレットを渡して、あかちゃん訪問の時に配布してもらい地域子育て支援拠点事業について知らせ、来園に繋がることができた。育児講座では、外部講師の活動が好評だったので、今後も検討したい。また、2019年度以来行うことができていなかった給食試食会を毎週水曜日に親子1組を対象に行うことができた。予約制で、普通食・離乳食・アレルギー食に対応している。食後にはアンケートを行い保護者の方が気が付いたこと等記入してもらおう。感想として、「大人用を子ども用に応用するやり方が分かって良かった。」「味付けが美味しいのでレシピを知りたい。」との声もあり、給食担当者から伝えてもらう。2023年度は、様々な制限が緩和されたこともあり、すべての講座において利用者数が2022年度より増加している。ホームページを見て来園される方が多かったので、更新も引き続き行う。

④障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し障害児に対する適切な処遇の確保をする。

対象児 : 4歳児 2名 (児童発達支援放課後等デイサービスちゅーりっぷ利用)

(こども発達サポートにこら利用)

・ちゅーりっぷ利用児…生活の基盤は園におき、ちゅーりっぷを利用して登園する形をとる。園に送迎をしてもらえるので、担当者と情報共有ができることが利点である。

・にこら利用児…母親と一緒に休みの時に利用している。

担当者で電話での情報共有をしている。

2歳児 1名 難聴児で鷹ノ子病院の耳鼻科で治療や訓練をしている。

1歳児 1名 ウエスト症候群という難病で、県立中央病院・療育センターで診察やリハビリを受けている。

配慮が必要な園児 : 3歳児 3名

・それぞれの特性に合わせて関わるようにしている。また、園全体で情報を共有する。

・保護者には園での様子を丁寧に伝え、保護者の意向を聞きながら今後の関わり方やどういう風に支援に繋げるか等、話をする。

※2023年度は、難病のお子さんを12月から預かる。手さぐり状態でのスタートとなるが、保護者と密に連携しながら、本児に合った環境をできる限り整えるようにする。地域の中で育つことの大切さを改めて感じている。ただ限界も感じていて本児にあったケアやリハビリなど専門職の方の力が必要だと実感する。2024年度はそれを踏まえて外部の力も借りるようにしたい。

配慮の必要な園児は、個性として捉えるのか、発達が緩やかなのか、どのように保護者に伝えるのかと悩むことがある。また、職員の力もまだ未熟だったり、それぞれの価値観で感じ方が違うので、園としてどう対応するかということを大事にしたい。それには園全体で情報を共有し、同じ目線に立つようにする。

8. 小学校との連携

【卒園児18名】

三津浜小学校 … 4名 宮前小学校 … 6名 味生小学校 … 4名
みどり小学校 … 1名 高浜小学校 … 1名 さくら小学校 … 1名
垣生小学校 … 1名

※それぞれの小学校によって交流や連携の進め方は違っている。校区内である三津浜小に年長児全員が招待され(小富士保育園、三津浜幼稚園の年長児も)小学生と交流を持つ企画は、就学前から小学校に興味や関心が持てるように配慮されていた。

また、引き継ぎでは、各小学校から教員がきてくださったり、電話で個々の様子を丁寧に聞きとりして下さる。合わせて幼保連携型認定こども園園児指導要録を各小学校に提出する。

9. 苦情及び苦情解決の状況について

※2023年度は外部に向けて報告する苦情はなかった。(ホームページ等)

※園庭の西隣の方が、直接は言われないが、快く思っていないこともあるように感じる。

花の日、収穫感謝祭、バザー等交流が持てる時は声をかけて、できるだけ積極的に関わるよう意識している。駐車場の工事の時も、現場の職人に音が大きい等言われていたようだ。園長が挨拶に伺ったときは、しょうがないというように言われていた。また、自分の家の傷んでいる所など直してもらったと喜ばれていた。

※保護者から相談等はあるが苦情につながるものはなかった。

10. 職員の資質向上・育成 (参考資料:別記1)

※対面での研修会が多くなり、松山市内の研修会が主ではあったが、参加し知識や技術の習得や学びを深めることができた。復命書等で報告したり、ミーティングで話したりするが、それを園全体で共有することは十分にできなかった。

※キャリアアップ研修はオンラインであったこともあり計画的に受講できた。中堅職員は殆ど受講することができたこともあり、若い職員が少しづつ受講するようになる。レポートを見る中で学びに繋がっていると感じている。2023年度は、横浜のゆめ和ほいくえんから運動会と2月に園長と職員が施設実習に来られる。実習後レポートを送ってくださるが、私たちににとっては当たり前なのが新鮮に映っていたり、感じられたことをしっかり書いてくださっていたので改めて愛隣の保育、教育について振り返るときを与えてもらった。他園を見たり、実習することの大切さを感じた。2024年度はこちらからも実習に行くことを計画している。

※20代前半の職員の育成が思うようにいっていない。中堅保育士をつけたり複数担任のクラスで関わるようにしているが、育成する方も十分に関わることができていないのが現状である。計画を立ててもその通りいかない時には修正をして、その職員にあったものに変える

ようにしたい。ただ、新採用や途中採用した若い職員は引き続き働いてくれているのでコミュニケーションをとり、色々な思いを引き出し個々に寄り添えるように中堅職員以上に意識してもらえようようにしたい。

11. 食育活動、アレルギー対応について

※食育の取り組み

年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。

今年度は祓川の畑を利用して、さつまいも、小松菜、玉ねぎを栽培し一年を通して活用できた。園ではプランターで夏野菜を栽培する。

誕生日会、給食弁当は月1回行う。

月	活 動 内 容
4月・5月	いちごの収穫 各クラスで野菜の苗を購入、苗植え 5/10 くま組(5歳児)・・・きゅうり、なすび きりん組(4歳児)・・・トマト、ピーマン 5/11 うさぎ組(3歳児)・・・トマト りす組(2歳児)・・・トマト、きゅうり ひよこ組(0～1歳児)・・・トマト 5/29・・・芋苗を購入、苗付け (保育教諭、くま組) (今年度より祓川町で畑を借りれる) (園庭)
7月・8月	野菜の収穫 とうもろこし皮むき かき氷 すいか割り 海水浴
11月	11/1 全園児 芋掘り遠足(お弁当給食) 祓川の畑、園庭 11/21 たこ焼き大会 玉葱苗、小松菜の種(祓川の畑) 人参、大根の種(園庭)・・・購入、苗植え ねぎの苗植え(給食で出たねぎの苗)
12月	12/1 クッキング・・・クッキーの型抜き(ミニバザー用) 12/2 愛隣ミニバザー(カレーライス、ポップコーン、たこ焼き、クッキー、わたがし、ジュース) 各部屋でのクリスマスパーティー (ツリー菜飯、鶏肉の竜田揚げ、スパニッシュオムレツ、スパゲティ、いちご) 各部屋でおでんパーティー
3月	3月は卒園児のリクエストメニュー 3/13 小松菜収穫 各家庭に配布 3/14 給食のお浸し追加 3/15 お誕生日会 マックセット(照り焼きバーガー、フライドポテト、コールスローサラダ、オレンジ) 3/21 たこ焼き大会

※アレルギー児への対応は入園前の面接で保護者と話し、個々の状況を把握する。アレルギー対応が必要な園児は、かかりつけ担当医のアレルギー除去食に関する連絡票を提出してもらいその指示に従って給食を提供する。2023年度は例年より少ない6名に対応した。しかし、一時預かり利用者のアレルギー対応の子が多くなっているのを実感する。一時預かりは毎日のメンバーが同じではないので、前日に担当と給食室とで確認をし調理時、提供時の確認をしっかりとるようにする。0歳児に一件誤食があった。隣の友だちのおやつに手を伸ばして、一口食べたことによる誤食である。座る位置やおやつを配膳するタイミング等再度職員間で確認するよう話し合う。

	年齢・性別	アレルギー	除去の状況
1	0歳男児	卵	完全除去 11月よりつなぎ、焼き菓子、練り製品、パン、クッキー類はOK
2	1歳男児	卵	完全除去
3	1歳女児	卵	完全除去 12月より微量のつなぎはOK 練り製品、食パン、てんぷら粉、麺類、 カスタード・メロンパンなど以外の菓子パン 令和6年2月 解除
4	2歳女児	乳	チーズ、アイスクリーム、プリン除去 牛乳・ヨーグルト50gOK ヤクルト1本、バター、マーガリンOK
		卵	そのものは除去(プリン、カステラ、菓子パンを含む) つなぎはOK(練り製品、ハム類など)
		小麦	そのものは除去(うどん50gOK、スパ、麩、パン類) つなぎはOK(ルー類、練り製品、醤油、味噌、麦茶)OK
		キウイ	完全除去
5	3歳男児	卵	完全除去
		小麦	完全除去(醤油、味噌のみOK)
		その他	完全除去(軟体甲殻類、ごま、ピーナツ、アーモンド)
6	4歳男児	バナナ	完全除去

(別記1) 研修参加状況について
2023年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
1	2023.4.18	日本キリスト教保育所同盟 2023年度 四国地区理事長・園長会	園長 主幹保育教諭	1. 2022年度四国地区事業報告と決算報告に関する件 2. 2023年度四国地区事業計画と予算に関する件 3. 2023年度地区活動及び 会費に関する件 4. 2023.24年度地区理事選任に関する件	香川県
2	2023.4.15	令和5年度 松山市保育会総会	保育教諭	・総会 講演 演題『子どもにパフォーマンスを見せる極意と質について』	松山市
3	2023.6.1	令和5年度 保育従事者のための救命講習会	保育教諭	・救命講習 実技	松山市
4	2023.5.24	令和5年度 第1回 松山市新任保育士研修会	保育教諭	①保育士としての心構え ②不安や悩みの解消方法 ③保育所保育指針・乳児保育について	松山市
5	2023.5.24	令和5年度 第1回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	・施設 自己紹介 ・情報交換、事務連絡	松山市
6	2023.6.3	松山市保育会 相互研修	保育教諭	講演 「音楽で人生に豊かさを」	松山市
7	2023.6.27	令和5年度 発達支援実践研修(第2回)	保育教諭	講演 「松山市の母子保健事業 ～乳幼児期からフォロー教室まで～」	松山市
8	2023.6.9	主任保育士・主幹保育教諭研修会	主幹保育教諭	講義 「多様性を考える これからの保育」	松山市
9	2023.7.3 2023.12.22	令和5年度 愛媛県保育士等キャリアアップ研修 専門分野研修	保育教諭 事務員	①乳児保育 ③障がい児保育 ④食育・アレルギー対応 ⑤保健衛生・安全対策 ⑥保護者支援・子育て支援	オンライン
10	2023.6.20	令和5年度 初任者研修	保育教諭	講座 「社会人として基本となるマナーを身につける等」	松山市
11	2023.7.6	園児の命を守るための救急講習会	主幹保育教諭 保育教諭	①全国で発生した事故事例の紹介とその対処法について ②実技講習(園児向けの心肺蘇生法、AED取扱い、異物除去、止血法等)	松山市
12	2023.7.20	令和5年度 発達支援実践研修(第3回)	保育教諭	講演 「気になる子どもとその保護者への支援 ～保育園での取り組み～」	松山市
13	2023.7.30	第17回 愛媛県医師会 公開講座	園長 主幹保育教諭 保育教諭	講演 愛着形成と健康で率直な「甘え」-社会の中で快適に生きるために- 講演 すべての子どもたちの幸せのために！ ～みんなが知っておきたい 非認知能力とは？～	松山市
14	2023.7.14	中堅保育士・保育教諭研修会	保育教諭	講義 「そのかわり方でだいじょうぶ？」 “令和”の時代のコミュニケーションのコツ	松山市
15	2023.7.9	乳幼児の救急蘇生についての講習会	保育教諭	[第1部] 講演 乳幼児の救急蘇生について [第2部] 実技指導	松山市
16	2023.7.8	2023年度 第1回職員研修会	主幹保育教諭 保育教諭	グループ討議 グループ発表	松山市
17	2023.9.2	令和5年度 第2回 松山市新任保育士研修会	保育教諭	①保育士としての心構え ②不安や悩みの解消方法	松山市
18	2023.8.30	令和5年度 発達支援実践研修(第4回)	保育教諭	講演 「口から食べる力を育てる」	松山市
19	2023.9.12	令和5年度 発達支援実践研修(第5回)	保育教諭	講演 「インクルーシブ保育・教育 ～特別な配慮を必要とする幼児への 指導の充実を目指して～」	松山市
20	2023.11.16 2023.11.17	2023年度 四国地区職員研修会	園長 保育教諭	パワーポイント発表 ～施設紹介～ 施設見学 講演 「キリスト教主義保育・教育を考える」	久万 高原町
21	2023.9.7	保育士・保育教諭実技研修会	主幹保育教諭	講義 「日本の音楽教育と楽器」～楽しくリミック～	松山市
22	2023.11.1	令和5年度 発達支援実践研修【追加研修】	主幹保育教諭	講演 「気になる子どもへの支援 ～保育園での取り組み～」	松山市
23	2023.10.30 2023.10.31	2023年度 園長研修会	園長	講演 「分かち合う共同体を目指して ～教会子ども食堂・フードバンクの働き～」 施設見学研修(夜間保育所 ふくろうの家、松山乳児院他)	松山市
24	2023.11.11	令和5年度 松山市医師会園医会総会	園長 保育教諭	講演Ⅰ：～救急車 よぶか、よばないか 悩む～ 講演Ⅱ： 小児の癲癇、てんかん発作について	松山市
25	2023.12.14	令和5年度 愛媛県教育・保育施設長研修会	園長	講義 「今こそ安全・安心を再確認！ 犯罪から園と子どもを守る」 講義 「教育に科学的根拠を」	松山市
26	2023.11.25	2023年度 第2回 松山市子ども・子育て連絡協議会研修会	保育教諭	講演 「子どもの脳の発達と支援のあり方」 講演 「園における〈読み聞かせ〉の効果と技術」	松山市
27	2023.11.15 2023.12.13	2023年度 中堅保育士研修	主幹、保育 教諭 全員	《主題》 キリスト教保育を学ぶ ① 「わたしのキリスト教保育ブレイクする～？」 ② 「分かち合う共同体を目指して～教会子ども食堂・フードバンクの働き～」	オンライン
28	2023.12.11	令和5年度 第5回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	講演 「発達に課題のある子どもと家族への支援」 質疑応答・事務連絡・グループワーク	松山市
29	2024.1.21 2024.2.12	オンラインてんかん講座	主幹、保育 教諭 全員	《テーマ》 子どものてんかんと教育現場での正しい対応 講座1 「てんかんについて」 講座2 「発作時の正しい対応」「学校での生活区分表の活用」	松山市
30	2024.2.15	令和5年度 第6回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	グループ討議「子育て支援の現状と今後の課題について」 ～次年度の活動について検討する～	松山市
31	2024.2.14	令和5年度 松山市要保護児童対策 関係機関研修会	園長 保育教諭	講演 「様々な精神障害を抱えた保護者の理解と対応 ～子ども・家庭支援の立場から」	松山市
32	2024.2.10	2023年度 第3回 松山市子ども・子育て連絡協議会研修会	主幹保育教諭	「昨今の学生の就職に関する動向」	松山市
32	2024.3.2	2023年度 第4回 松山市子ども・子育て連絡協議会研修会	主幹保育教諭 事務員	「働きやすい職場づくり＜働き方改革＞」	松山市
33	2024.3.25	松山市保育会代議員会	主幹保育教諭	令和5年度 事業報告・会計報告 令和6年度 事業計画・会計予算	松山市

(別記2) ケガ・感染症について

こども園で手当てをし、保護者に報告したもの(ヒヤリハット報告書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考2022年度
唇のケガ	2 2歳児1名 3歳児1名			1 2歳児1名						1 4歳児1名	2 0歳児1名 3歳児1名	3 0歳児1名 1歳児1名 3歳児1名	9	8
打ち身等	5 1歳児1名 2歳児1名 3歳児1名 4歳児2名	3 1歳児1名 2歳児1名 5歳児1名	3 3歳児2名 4歳児1名	5 1歳児1名 3歳児2名 4歳児2名	4 0歳児1名 1歳児3名			2 2歳児1名 3歳児1名	1 0歳児1名	6 0歳児3名 1歳児2名 3歳児1名	11 0歳児3名 1歳児1名 2歳児2名 3歳児2名 4歳児2名 5歳児1名	3 0歳児2名 3歳児1名	43	52
ひっかき			2 0歳児1名 4歳児1名	3 1歳児2名 4歳児1名	4 1歳児2名 2歳児1名 5歳児1名	3 1歳児2名 4歳児1名		2 3歳児2名	1 1歳児1名	3 1歳児1名 3歳児2名	5 0歳児1名 3歳児2名 4歳児2名	5 1歳児1名 2歳児1名 3歳児1名 4歳児2名	28	21
かみつき	4 1歳児4名	3 1歳児2名 3歳児1名	7 1歳児3名 2歳児2名 3歳児1名 5歳児1名	6 1歳児5名 4歳児1名	6 1歳児6名	5 1歳児5名	3 1歳児2名 2歳児1名	6 1歳児3名 2歳児2名 3歳児1名	2 1歳児2名	3 0歳児1名 1歳児2名	1 1歳児1名	1 0歳児1名	47	12
すり傷等	3 1歳児2名 2歳児1名		5 3歳児4名 5歳児1名			2 0歳児1名 1歳児1名		1 3歳児1名		1 1歳児1名	2 3歳児1名 4歳児1名	1 3歳児1名	15	21
軽い火傷													0	0
つねった傷			1 3歳児1名		1 1歳児1名							1 1歳児1名	3	1
指をつめる							1 1歳児1名	1 3歳児1名					2	1
誤食											1 0歳児1名		1	2
爪のケガ													0	2
誤薬													0	0
切り傷													0	2
脱臼													0	2
とげ			1 4歳児1名									1 4歳児1名	2	1
骨折													0	1
筋が伸びる													0	1
合計	14	6	19	15	15	10	4	12	4	14	22	15	150	127

内病院を受診したものの9件(参考2022年度7件)

病院受診のケガ

- ▷上唇と歯を打つ…2歳児 年長児と手を繋いで散歩をしている際に、家の前の鉄板に足が引っ掛かり転倒する。上唇と歯を打ち、園で冷やしたのち、みちだ小児歯科を受診。上唇の腫れは少し引くが、赤みは残る。歯は異常なし。
- ▷額を打って腫れる…1歳児 ワゴンに乗っている際、横の止め具が外れてしまい、転倒する。額を打ち、大きく腫れたため、氷で冷やしたのち、山下脳神経外科を受診。様子見で大丈夫と言われる。後日すり傷となり、腫れも落ち着いた。
- ▷手が目に当たり充血する…3歳児 手が左目頭に当たり充血する。様子を見ていたが、赤く線が出てきたため、別所眼科を受診。傷ができており、抗菌の目薬を処方される。再受診し、目の傷はふさがり、充血もなくなる。
- ▷肘をぶつける…5歳児 アンパンマントロッコ列車の遊びコーナーで遊んでいる際、肘をぶつける。手が上にあげられず、今治セントラルクリニック受診。レントゲンなど診てもらい異常なし。衝撃で手を動かすのが怖くなったとのこと。曲げ伸ばしが出来ることが分ると、何事もなかったように遊んでいた。
- ▷顎を切って出血する…0歳児 玩具を床に滑らせて遊んでいる際、フローリングでタイヤが勢いよく滑り、顎を切る。口の中は、舌の裏から少し出血が見られ、わたなべ皮膚科形成外科を受診。顎を1針縫う。抜糸後より、だんだん傷が目立たなくなっている。

- ▷右眉毛付近を引っ掛かれる…1歳児 絵本を見ている際、他児に右眉毛付近を引っ掛かれる。冷やして対応するが、顔に傷があるため、わたなべ皮膚科形成外科を受診。傷自体は深くなく、数日ワセリンを塗布し、様子を見ることとなる。傷も目立たなくなった。
- ▷指に木片が刺さる…4歳児 外遊びの際、指に木片が刺さる。スイミングのため、早めに1度降園するが、スイミングの後、再度預かり竹宮皮膚科を受診。すぐに木片は取れ、その後も悪化なく経過する。
- ▷左手の親指が赤く腫れている…1歳児 広場遊びをし、給食後の着替えの際、左手の親指に赤味があり刺されたようなあとを見つける。冷やして様子を見ていたが、午睡明けも腫れが残っていたため、わたなべ皮膚科形成外科を受診。虫刺されと言われ、内服薬、軟膏を処方される。腫れも引き、目立たなくなる。
- ▷右の頬を引っかかれる…2歳児 他児に右の頬を引っかかれ、すぐに冷やして様子を見るが、傷が少し深かったため、わたなべ皮膚科形成外科を受診。ワセリンを塗布し、保湿テープで保護してもらうが、テープかぶれが見られ、再び受診。赤みが引く軟膏が処方される。ゆっくりと赤みも引き、目立たなくなる。

曜日別のケガの件数

	月	火	水	木	金	土	合計
午前	11	22	25	15	15	5	93
午後	9	8	11	16	10	3	57
合計	20	30	36	31	25	8	150

曜日別発生状況



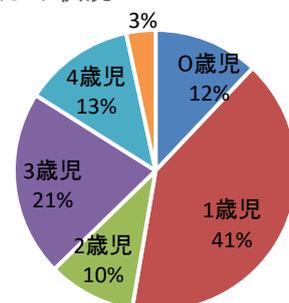
曜日別 病院を受診したもの

	月	火	水	木	金	土	合計
午前	0	3	1	1	3	0	8
午後	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	3	1	2	3	0	9

年齢別のケガ

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
18	61	15	32	19	5	150

年齢別ケガの状況



【考察】

1歳児クラスの噛みつきが非常に多かった。前半は特定の子による噛みつきであった。マンツーマンでつくようにし、噛む前に防ぐことに徹するようになった。そのことにより特定の子の噛みつきは減ってきたが、他児も噛むことがあり、全体的に1歳児のクラスに集中したのが現状である。後半はベテラン保育士を担任に加えたことによりクラス全体も落ち着いた。受診したけがは大事にはいかなかったケースばかりであったが、小さいけがでも園で完全に把握できないもの(とげが残っているか、なぜ赤く腫れたのか等)は受診し保護者に説明ができるように努めている。

感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考 2022年度
インフルエンザA型		1		1 (職員3)		14 (職員2)	4 (職員1)	2	4 (職員4)	22 (職員3)			48 (職員14)	1
インフルエンザB型											1	2	3	
コロナウイルス感染症				1 (職員3)		1 (職員2)			2	1 (職員1)	2 (職員4)	9	16 (職員10)	46 (職員14)
感染性胃腸炎 (ノロウイルス、ウイルス性胃腸炎、 急性胃腸炎、胃腸炎を含む)									1	1	2	4	8	16
流行性耳下腺炎														
クルーズ症候群	1			3			1						5	3
ヘルパンギーナ			13	4									17	1
溶連菌感染症								9	2	6	1	1	19	1
手足口病						4	1						5	8
RSウイルス			14									1	15	6
アデノウイルス			1		1				3	4	1		10	3
扁桃炎							1						1	
ヒトメタニューモウイルス					11								11	
突発性発疹														5
流行性結膜炎														1
水ぼうそう														
マイコプラズマ肺炎														3
ヘルペス														1
嘔吐下痢症										1			1	
合計	1	1	28	9	12	19	7	11	12	35	7	17	159	95

〈感染症〉 コロナが5類になり、対応も緩和されたが2022年度と比較すると少なくなったものの、インフルエンザをはじめコロナ前に感染症として広がっていた小児がかかる病気はもどってきている。その時々で対応したり、保護者に周知して予防してもらうよう働きかけている。

2023 年度(令和 5 年度) ガリラヤ荘 事業報告

〔事業の種類〕

- | | |
|-------------------------------|---------|
| I. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護) | 定員 80 名 |
| II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護) | 定員 20 名 |
| III. デイサービス(〔介護予防〕通所介護) | 定員 35 名 |
| IV. ホームヘルプサービス(〔介護予防〕訪問介護) | |
| V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援) | |
| VI. 在宅介護支援センター(委託事業) | |

1. ガリラヤ荘(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	<p>① 基礎介護力を高め、穏やかな生活を提供できるために、トータルケア(総合的視点による予防的ケア)の知識・技術の向上を実践する。(目標:外部研修〔WEB 含む〕参加、フィードバックのための内部研修〔書面含む〕開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 外部研修参加 (集合研修及び WEB 研修へ参加、10.施設外研修の状況参照) ■ 内部研修開催 (各感染症対策として、書面開催または小規模開催、9.施設内研修状況参照) <p>② 人権尊重、プライバシー保護を徹底するとともに身体拘束廃止、虐待防止、事故防止に努める。(目標:委員会活動〔毎月〕による検討・分析・評価を行い、総合委員会〔毎月〕を開催し、情報共有、ケア方法の見直しをより多く実現する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 総合委員会〔12 回〕※毎月 その他、各委員会活動〔12 回〕※毎月 ■ 内部研修開催 <ul style="list-style-type: none"> 1)ケア向上(排泄)〔6 回〕※(株)光洋排泄リーダー育成セミナー年間教育プログラム参加 2)看取りケア〔2 回〕 3)介護事故防止(リスクマネジメント)〔2 回〕 4)身体拘束等虐待防止〔2 回〕 5)衛生管理(感染症対策)〔総合訓練 2 回、勉強会 2 回(食中毒/感染症全般)〕 6)権利擁護・法令遵守〔1 回〕 ■ 朝礼(全体/各部署)の開催〔月～土〕 <p>③ 健康管理。服薬管理を徹底し、またトータルケアを実践することで、病気の重症化や再発予防に努める。(目標:記録管理の元、専門職によるダブルチェック〔毎週〕を開催し医療連携のうえ、長期入院の減少、利用減少予防を目指す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者・入所者の状態をダブルチェックする検討会(毎週)開催 ■ ミールラウンドによる摂食嚥下機能検討/評価の開催〔月 1 回〕 ■ 衛生管理委員会(1-2 回/月)開催(各感染症対策会義を含む) ■ 内部研修開催〔4 回〕(うち 2 回感染対策訓練) <p>〔インフルエンザ 12 名〕〔ノロウイルス 12 名〕〔新型コロナウイルス感染症発症 23 名〕 ※)R5.4～R6.3</p>

<p>自立支援に視点を置き、個別性を尊重した、より良質なケアサービスを提供する</p>	<p>① アクティビティ(行事・レクリエーション活動など)を充実させスタッフも共に楽しむことで暮らしが豊かになる環境を創る。(目標:年間計画の基、計画的な実践を行う。またコロナ禍により中止していたイベントを再開する〔運動会/感謝祭等〕)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 全体行事について各感染症対策により中止 ■ 通所及び特養短期ユニットについて、毎月小規模による行事開催 ■ 家族面会について、居室面会の再開 R5.5 開始。 <p>② 排泄ケア・ノーリフティングケアの実践を定着させ、ケアスタッフの介護技術向上に努める。(目標:技術の定期確認と福祉用具の適切運用管理)※)ケア向上委員会整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 排泄ケア年間教育プログラム(株光洋)排泄リーダー育成編:業務課長・リーダー2名参加 ■ 排泄ケア 現場ラウンドチェック実施 ※)業務課長、(株)光洋アドバイザー ■ ノーリフティングケア 現場ラウンドチェック実施 ※)業務課長、機能訓練指導員 ■ 多職種共同による個別ケースの評価と実践 <p>③ 入浴機器の変更に伴う、入浴ケアの実践を見直し、ケアスタッフの介護技術向上に努める。(目標:技術の定期確認と入浴機器・備品の適切運用管理)※)ケア向上委員会整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 入浴ケア 現場ラウンドチェック実施 ※)業務課長 <p>④ 在宅サービスをトータル的にサポートし、個別ニーズに応じた必要なサービスを提供できるよう支援する。(目標:在宅委員会による困難ケースの共有、地域関係期間との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センターとの連携〔各種会議・研修参加〕 ■ 関係機関との連携(東温市生活支援協議体、介護ネット東温、東温市健康相談) ■ 在宅委員会開催〔12回〕
<p>地域における福祉拠点となるよう、福祉また社会ニーズを捉え、地域との交流を充実する。</p>	<p>① 地域における公益的な取組として、地域活動の推進を継続する。(目標:男性介護者対象のおとこ塾・地域サロンへの出前講座再開、法人地域共生センターとの連携など、コロナ禍での感染対策の元、可能な計画を実行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域サロンへの出前講座〔1回〕 ■ おとこ塾(男性介護者支援の会)〔2回〕 令和5年5月13日(場所:なめがわ清流の森 バーベキュー)(参加者:6名) 令和5年11月12日(場所:ガリラヤ荘 秋の運動体験会)(参加者:14名) ■ 東温市介護相談員訪問〔12回〕 <p>② 地域交流の機会を積極的に実践する。(目標:地域の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校との交流会、各種ボランティアの受入を積極的に行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各交流会開催(花の日訪問、収穫感謝訪問 等) ■ 各ボランティア受入(オカリナ、園芸、清掃 等) ■ 地域自主防災組織連携(防災合同訓練) 令和5年5月25日実施 <p>③ ホームページ・ブログを定期的に更新し、情報発信を積極的に行う。(目標:ホームページを中心として情報発信をする。ブログを全事業所毎月更新する)※)チラシ/パンフレットを定期製作し各事業所の営業活動を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ブログ配信〔定期更新中〕(https://www.ailinen.jp/) ■ 広報誌〔法人広報誌年3回発行〕 ■ 営業用チラシ〔通所年4回 特養短期1回 製作〕

<p>スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上を目指す。</p>	<p>① 全職員・全職種を対象とした研修を継続実施し、最新の知識・技術と合わせ、専門性と実践力の向上を図る。(目標:介護テキストの更新及び研修開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎介護テキスト更新実施 ■ 基礎介護研修開催 [6回] ■ 専門書籍、最新情報等の全体回覧の実施 ■ 介護職員喀痰吸引等研修 [参加者4名] <p>② 新任・中途採用者教育を継続実施し、エルダー面談、定期面談を計画的に実施する。(目標:研修体制・テキストの更新及び研修開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新人研修テキスト更新実施 ■ 入職時新人研修及び、フォローアップ研修開催 ■ エルダーによる個別面談開催
<p>やりがいを感じ働きやすい職場づくり、離職者ゼロを目指す。</p>	<p>① リフレッシュ休暇による有給休暇(8連休または4連休×2回)の計画的付与を行う。※(年休6日+公休2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ リフレッシュ休暇取得推進(分散取得を含め、計画取得済) <p>② 委託期間によるメンタルヘルス対策、ストレスマネジメントに積極的に取り組む。(目標:定期的な情報発信、ストレスチェック実施、メンタルヘルス研修実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ストレスチェック実施(NPO 法人こころ塾との従業員支援事業委託) ■ メンタルヘルスに関する情報提供及 ■ メンタルヘルスフォローアップ研修及び新人職員個別面談開催 [各1回] <p>③ 継続的に業務改善に対する検討を図りサービス残業ゼロを目指す。(目標:業務マニュアルの更新)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各業務の効率化に関する協議(運営改善委員)開催 [12回] ■ 各会議・研修等、勤務時間中開催の推進 <p>④ スタッフの成長とチームワーク向上、ユニット活動の活性化を目的とし、ユニット間の人事異動を定例実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 特養短期介護職員ユニット移動実施[令和5年5月1日及び8月1日]
<p>各業務の可視化・標準化における介護ロボット・ICTなどの導入を目指し、2025年に向けた既存事業の強化を図る。</p>	<p>① 目的と効果を明確にした介護ロボット・ICT等の導入を研究・試用し、基盤整備に取り組む。(目標:中長期計画との連動【介護記録ソフト、ベッドセンサーの導入準備】)※ICT推進委員会整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各導入機器等の選定及び導入に関する協議(ICT推進委員会)開催 [年12回] ■ 通信設備等整備の実施 [Wi-Fi工事、PC・タブレット等の購入] R6.3整備完了し運用準備中 <p>② 在宅サービス利用者数の増加及び入所稼働率向上に向けた魅力ある事業所づくりを進める。(短期・通所・訪問の市場拡大の検討、特養待機者の確保、各種加算の取得)※事業所説明会(相談会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運営会議/在宅委員会開催[毎月]し協議検討実施。[12回] ■ 部課長会議開催[不定期/随時]し課題整理実施。[6回] ■ 各事業所・部署会議開催[1回/月]し情報共有。[12回] <p>※ 事業所説明会について各感染対策の影響を考慮し未実施</p> <p>③ 物価高騰対策とした、事業所毎の適正な予算編成と管理を行い、ムリ・ムラ・ムダのない運営を実践する。(目標:5S推進、取引商品の積極的見直し、消耗備品在庫管理の徹底、予算管理の情報共有)※各種使用量の分析を行いながら積極的な経費節約・削減を実践する。※)運営改善委員会整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運営会議開催(運営改善委員会を含む)し各事業所毎月の稼働実績を正確に把握。

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種消耗品等の在庫整理の見直し実施(運営会議での共有実施) ■ 電気料金高騰による節電・節水の見直し等実施、評価分析(周知・励行実施) ■ 館内照明(主にユニット居室・浴室・リビング等)LEDへの取替工事实施 R5.9 実施
快適な居宅環境の整備をすすめ、感染症対策また防災防犯対策を強化する。	<p>① 移転後 10 年以上経過し、設備・環境についての経年劣化に対する修繕計画を策定し、計画的に実行する。(目標:中長期計画との連動【各エアコンの見直し検討、各設備の劣化修繕の検討、各建物劣化修繕の検討】)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各種洗面温水機器、居室エアコン不具合における修繕実施 <p>※エアコン見直しは保留</p> <p>② 感染症対策を強化し必要物品の確保、予防の徹底を行う。特に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策について徹底し大規模クラスター発生防止に努める。(目標:各感染発症数「0」を目指しながら、クラスター発生時にも対応できる状況を保つ)※)新型コロナウイルス感染症については感染症法による分類引下げによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症 5 類移行後、各種感染症対策会議へ変更し定例開催のもと周知徹底事項について全職員への情報発信(資料配布)を継続実施。 ■ 感染対策時の必要物品の備蓄量管理の実施。 ■ 新型コロナウイルスワクチン接種の実施及び、頻回抗原検査(行政指示を含む)の実施 <p>新型コロナウイルス感染症発生状況 : クラスター発生 0 件</p> <p>③ BCPに基づき、大規模災害に対する対策に努める。また地域(行政・地域住民(自主防災)との連携に努める。(目標:定期防災訓練・防犯訓練の実施、福祉避難所訓練の実施、地域防災活動との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ BCP(事業継続計画)の見直しにかかる検討会議開催。 ■ 各種訓練の開催(各種感染症対策として、一部中止、また規模縮小開催)

2. I.特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護)

2-1 入所者の状況(令和6年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和6年3月末現在 42 名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
10	19	29	9	20	29

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	17	61	78
平均年齢	85.6	90.7	89.6
最高齢	97	100	-
最年少	65	69	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	0	0
2	0	1	1
3	1	7	8
4	7	28	35
5	9	25	34
平均	4.5	4.3	78

2-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	5	48
5月	2	31
6月	2	26
7月	4	61
8月	6	42
9月	3	38
10月	5	59

	実人数	延日数
11月	6	68
12月	11	184
1月	10	110
2月	10	165
3月	10	81
合計	74	913
月平均	6.0	76

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	17	11
尿路感染	1	8
胆・膵・肝機能系	5	2
腸閉塞・腸炎	5	6
心疾患	6	5
脳梗塞	1	2
骨折	1	3
その他(新型コロナ含)	17	24
合計	53	61

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	4	5
在宅酸素療法	2	2
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	2	2
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	6	2
合計	16	11

※緊急搬送回数 1 件（前年度 1 件）

《総評:健康管理係長》

入居者の要介護度の平均が 4.3 と年々重度化が進んでいる。また入居者個人の抱える疾患が非常に多く、昨年度と比較しても在宅酸素や吸引などの医療管理の必要性が高まっている。ここ数年コロナ禍で参集しての職員研修が不十分であったため、食事介助方法や口腔ケアなどの基本的なケアの質の低下につながる可能性を考慮する必要があると感じている。令和 6 年度は対面形式の内部研修を再開し、基礎介護の維持・向上に努めていきたい。

協力医療機関の病床が地域包括ケア病棟となったことも影響し、入院が長期化する傾向がみられた。協力医療機関と入院者の情報共有を密にとりながら、状態状況確認に努め、退院が可能となった場合は速やかな受入を行っていきたい。

2-3 機能訓練の状況

【週間スケジュール】

	担当	月	火	水	木	金	土
午前	ユニット職員	集団体操（各ユニットにて）					
	機能訓練指導員	個別機能訓練(南1)	ダブルチェック	個別機能訓練(中1)	個別機能訓練(中2)	個別機能訓練(南2)	個別機能訓練(フリー)
	ユニット職員	お口の体操（各ユニットにて）					
午後	機能訓練指導員	レクリエーション:各ユニット月2回程度 クラブ活動:習字クラブ(月1回1ユニットずつ実施) 縫布クラブ(第1火曜)・俳句会(第4水曜)※ <u>新型コロナウイルス感染症対策として中止</u>					
	理学療法士(非常勤)		個別機能訓練 練宮岡PT			個別機能訓練 練宮岡PT	

【機能訓練内容】

職種	内容	
ユニット職員	生活リハビリ	離床、ポジショニング・シーティング、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練など、手作業・代替行動の提供など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、口腔リハ、座位・立位訓練など
	集団活動	集団体操(朝の集団体操、お口の体操) 集団レクリエーション(音楽クラブ、風船バレーなど)
理学療法士(非常勤)	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、立位、歩行訓練、生活リハビリの指導など

【外部専門家によるスーパーバイズ】

	内容
河野歯科医師	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の歯科治療(随時) ・「基本サービスとしての口腔衛生の管理体制」のための技術的助言・指導(年2回) ・「口腔衛生管理体制加算」のための介護職への口腔衛生指導(月1回)

	・「口腔衛生管理加算」のための口腔内チェック(月 1 回)
阿部歯科衛生士	・「口腔衛生管理加算」のための口腔ケア(月 2 回) ・「経口移行」「経口維持」のためのミールラウンド(月 1 回)

【外部専門家によるスーパーバイズ】

	内容
河野歯科医師	・個別の歯科治療(随時) ・「基本サービスとしての口腔衛生の管理体制」のための技術的助言・指導(年 2 回) ・「口腔衛生管理加算」のための口腔内チェック(月 1 回)
阿部歯科衛生士	・「口腔衛生管理加算」のための口腔ケア(月 2 回) ・「経口移行」「経口維持」のためのミールラウンド(月 1 回)

機能訓練実施延べ人数

機能訓練内容	今年度	前年度
①身体運動機能(うち嘱託 PT)	737(628)人	752(617)人
②摂食嚥下機能	42 人	69 人
③認知言語機能	5 人	11 人
④集団活動	1108 人	889 人

※)介護職員による生活リハビリを除く

《総評:機能訓練指導員》

前年度に引き続き移乗ケア改善として、介護職員の体の使い方について周知徹底を図る目的としたラウンドチェックを月2回程度実施した。ラウンドすることにより、介護職員の状況を確認しながら指導ができるとともに、入居者の状態把握ができ、異常の早期発見・早期対応につながる事例も増加したと考える。ポジショニング・シーティングに関して、座位姿勢の崩れがベッド上の姿勢と連動していること、適切なポジショニングをすることで、座位姿勢が整い、食事も上手に食べられるようになることの理解がすすめられた。食事・口腔ケアに関して、肺炎での入院や痰の吸引事例の増加傾向にあった。入居者の重度化傾向も要因にひとつだが、ケア方法の見直しが必要であったケースも多くみられたため、状態・状況に応じたケア方法の検討と周知に努めていきたい。

2.-4 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 総合記録シートを活用したケア向上の継続実施 [記録システムの継続] ■ オペレーションシート(シフトマニュアル)を活用した統一したケアの実施 [業務マニュアルの継続] ■ 多職種連携室を情報共有拠点とした会議、ミーティングの実践 [多職種共同による情報共有] <p>《ノーリフティングケア》「目的」:入所者の拘縮予防及び職員の腰痛予防のため。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スカイリフト研修を新人研修内で実施。 2. 介護職員に対する移乗技術のラウンドチェック実施 3. 新規使用者への導入時に随時研修実施し、使用状況チェック実施。

	<p>【福祉機器の使用状況※年度末適応者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移乗時:床走行式リフト(31人)/フレックスボード(2人)/スライディングボード(6人) ● トイレ・入浴時:スタンディングマシン(2人)
--	---

2-4 ユニットの取り組み

【中1丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	花壇づくり	10月	秋の味覚を楽しもう-スイートポテト作り-
5月	揚げ物まつり	11月	長寿者お祝い/クリスマス準備
6月	あんみつ作り	12月	クリスマス会
7月	麺パーティー	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	駄菓子屋
9月	おはぎ作り	3月	春のお茶会

基本ケア 食事・排泄	<p>食事ケアについて、重度化が進んでいるため、介助時の一口量等の基本を丁寧に伝えるよう努めていきたい。身体の状態状況において自助具がっていない場合に多職種連携をとり改善できるよう日々の状態観察を丁寧に実践した。人員が不足するときなど一つひとつ確認が不足することがみられたため、注意していきたい。</p> <p>排泄ケアについて、スカイリフトを活用したトイレ支援が利用者の状態状況により困難ケースも見られたため、安全安楽な支援ができるよう努めていきたい。</p>
基本ケア 認知症	<p>認知症の種類・症状の理解が不十分となり、症状の出現に対し、上手く対応できないケースが見受けられた。困難ケースに対し、丁寧に状態・状況の分析ができるよう多職種と連携をとり情報共有に努めたい。また検討した対応について職員一人ひとりが丁寧に対応できるよう努めていきたい。特に人員が不足するなど、利用者の関わる時間が短くなる場合など、言葉かけを含めコミュニケーションが雑にならないよう注意していきたい。</p>
イベント企画 及びアクティビティ	<p>毎月計画的にイベントを実施することができた。イベントでは食べるものだけではなく、装飾やお皿、コップなどの小物にも季節やイベントのテーマに沿って準備することができた。入居者には食べるだけではなく、目でも楽しんで頂けたのではないかと考える。食事のイベントにおいて、経管栄養の方に対しどう楽しんでもらうのか、食べられない方へのアプローチは課題であった。味覚以外の視覚、聴覚、触覚、嗅覚を刺激できるような工夫を合わせて考えていきたい。</p>
ユニット環境 及び衛生管理対策	<p>ユニット環境の整備、衛生管理については清掃や整理を含め対応が不足するなど課題があった。業務の隙間時間など、職員間で連携して対応ができるよう努めていきたい。</p>
スタッフの連携 ・情報共有	<p>スタッフ間で日常的に声をかけあいコミュニケーションをはかることができた。</p> <p>但し経験の浅い職員など一人で抱え込む場合もあり、互いが気軽に頼りあえるような関係性を築いていきたい。情報共有としては申し送りノートやメール等を活用し、内容の把握が出来ていない時にはリーダーが声を掛け説明をすることの大切さを感じた。</p>

【南1丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	パンケーキ作り	10月	ハロウィンパーティー
5月	こいのぼりの飾りづくり	11月	いもたき
6月	あじさい鑑賞	12月	クリスマス会・忘年会。ゆず湯
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	手持ち花火大会	2月	チョコフォンデュ
9月	コスモスドライブ(中止)	3月	屋外散歩

基本ケア 食事・排泄	職員間のケア方法について食事姿勢、オムツの当て方などケアの統一が不十分だと感じるケースがみられたため改善できるよう努めていきたい。排泄ケアについて状態に応じた紙パットの選定は定期的に見直しを行うことができた
基本ケア 認知症	口腔ケアや入浴ケアなど本人希望や介助拒否により実施することが困難なケースがあった。前向きな声掛けやアプローチの工夫が必要だと感じる。言葉かけ自体は丁寧に行うことができているの感じるため今後も継続できるよう努めてきたい。
イベント企画 及びアクティビティ	イベントは計画的に実施することができ、入居者に楽しんでいただくことができたと思う。全員が参加できるイベントの実施が難しく、特に経管栄養の方に対するアプローチを検討していきたい。
ユニット環境 及び衛生管理対策	時期に合わせた飾りつけができ、季節感を感じていただけたと思う。整理整頓や物品の補充、共用・生活の場としての意識、各自が思いやりを持ち、働きやすい環境になるよう努めたい。衛生面の対応について注意する意識が不十分と感じる場面・状況がみられているため、改善できるよう周知徹底を図りたい。
スタッフの連携 ・情報共有	連絡ノートや資料を用いて情報共有を図るが浸透しないことが多かった。職員間で協働の意識を持って日々のケアに取り組めるとよかったと感じる。

【中2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	屋外散歩	10月	スウィートポテト作り
5月	おやつ作り	11月	ミニ運動会(中止)
6月	お好み焼きパーティー	12月	クリスマス会/ゆず湯
7月	すいか割り大会	1月	新年会
8月	長寿お祝い会	2月	豆まき・チョコフォンデュ
9月	ボウリング大会	3月	ひな祭り

基本ケア 食事・排泄	食事ケアについて肺炎・誤嚥などでの入院や痰の吸引の必要な方に増加がみられ、多職種連携のもと、介助方法、姿勢などを検討し、ケア方法の見直しと実践に努めた。排泄ケアについて、対応の工夫にと努めているが、統一した対応や見直し点など、情報共有として引継ぎがうまくできていないことがあった。パッドのあて方など工夫して、尿漏れが少なくなってきたと感じる。
基本ケア	元気に会話等のできる方が増え、ユニットがにぎやかになった。同時に見守りが必

認知症	要な方も増え独歩の方の転倒骨折が発生した。居室面会の再開に伴い、家族にしっかり普段のご様子や食事量・体調などの報告もでき、明るい雰囲気でもできている。日々の活動として手作業や塗り絵などを個別ですすめ、お口の体操などの取り組みも継続できてよかったと思う。
イベント企画 及びアクティビティ	計画的に実施することができているが、11月の運動会は感染症対応で最終的に実施ができなかった。3月のひな祭りはスタッフが持ってきた着物を着て、お雛様の前で素敵な笑顔の写真が撮れた。各イベントでスタッフが個別の写真撮影を意識して撮ってくれている。家族へのケアプラン送付書類に添えて送ることで、とても喜んでいただいている。
ユニット環境 及び衛生管理対策	居室内掃除、リビングの片付けなど、少し不十分な所がある。誕生日の飾りや、季節に合った飾りを工夫することができ、またイベント写真の掲示も含め、面会に来られた方にも好評であった。
スタッフの連携 ・情報共有	全体的に伝達事項はノートに記録し、また口頭で伝えているが、変更点や大事なことが周知できていないこともあった。メール等を活用し、感染症対応時や、入退院・看取りの連絡等の共有が努めている。

【南2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お花見おやつ	10月	ハロウィンパーティー
5月	ちぎり絵製作	11月	芋炊き
6月	あじさい鑑賞	12月	クリスマス会・年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	チョコレートフォンデュ
9月	ドライブ	3月	ひな祭り

基本ケア 食事・排泄	食事については、肺炎で入院になった方もおられた。退院後、状態・状況から食事カードを作成し、姿勢や食事のスピードなど注意することが出来ている。排泄に関して、紙パッドの選定を、その時の状態に合わせて変更することが出来た。
基本ケア 認知症	多動で落ち着きがない方には、代替行動やマンツーマン対応で、落ち着いてもらえるよう対応することが出来た。利用者の名前をきちんとした敬称で声かけられるよう統一した関わり方を目指していきたい。
イベント企画 及びアクティビティ	月ごとのイベントについて計画的に実施することができている。入居者には喜んで頂けることが多い。イベント以外での余暇活動(散歩など)を、職員の多い時間帯などに柔軟に行っていきたい(特に普段離床が少ない方など)。
ユニット環境 及び衛生管理対策	ユニット環境は、リビング内やユニット入り口に季節を感じられる飾りを行う事が出来た。居室内の写真を飾ることも継続して行う事が出来ている。感染対策としてノロウイルス感染対応を行った。消毒方法や感染対策方法について、その他の感染対応と異なる点などの周知徹底が不十分になった状況があり反省点であった。
スタッフの連携 ・情報共有	カレンダーやノートなどを使用し、情報の共有は出来た。面会予約表は、確認のし忘れがあり当日に気づくことがあったため、早出・遅出以外の勤務のスタッフも気に

	していかないといけない。業務の連携や当日対応しておいてほしいことなどの引継ぎも行う事が出来た。
--	---

《総評:介護係長/生活相談係長》

目標稼働率 96.0%に対し 95.8% 総延べ入院(外泊)日数 913 日。

基礎介護力維持・向上の継続に関して、今年度は排泄ケア・ノーリフティングケアに重点を置き継続的な実践ができた。特にノーリフティングケアについて、入居者の拘縮・褥瘡予防またスタッフの腰痛解消の効果が見られている、入所者の状況について、平均要介護度 4.3(年度末)となり、身体的・精神的に重度化傾向の中、各感染症の状況に合わせてながら、各イベントも少しずつ増やすことができた。内部研修について集合研修を再開したが、これまでの感染対策状況が影響し参加者が減少している傾向にあり、研修の在り方に対して今後の改善課題である。

3. II.ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)

3-1 利用状況(令和6年3月31日現在)

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期入所	2	69	71
短期入所	1371	4093	5464
合計	1373	4162	5535
平均利用者数	3.8	11.4	15.1

実人数	男	女	計
東温市	20	47	67
松山市	3	11	14
砥部町	0	1	1
今治市	0	1	1
久万高原町	0	1	1
滋賀県大津市	1	1	2
高知県梶原市	1	0	1
合計	25	62	87

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	0	0	0
要支援2	2	69	71
要介護1	64	222	286
2	102	708	810
3	406	2089	2495
4	524	459	983
5	275	615	890
計	1373	4162	5535

平均要介護度	3.6	3.1	3.2
--------	-----	-----	-----

3.-2 ユニットの取り組み

【北2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お花を囲んで桜餅・和菓子を食べる	10月	さつまいもでお菓子作り
5月	ガリラヤ外周散歩・しょうぶ湯週間	11月	パンケーキ作り
6月	あじさいドライブ	12月	クリスマス会・忘年会・ゆず湯
7月	ところてん作り	1月	新年会
8月	たらいそうめん	2月	チョコフォンデュ
9月	いもたき	3月	桜ドライブ

基本ケア 食事・排泄	同性介助や羞恥心に十分配慮できるよう、男女スタッフ間で声をかけあいながら、ケアをすすめられた。ケアの統一は、根拠もあわせて伝えていきたい。
基本ケア 認知症	全体的にスピーチロックの言葉がでる職員は少ないが、忙しいときなど、言葉づかいが雑になることが見受けられた。特に注意して気を付けていきたい。また経験の浅い職員の見本になるようお互い注意喚起しあいたい。困難ケースについてはカンファレンスで検討したことを生かして、周辺症状の緩和のために、代替行動など早めの対応に努めていきたい。
イベント企画 及びアクティビティ	毎月のイベントは計画通り実施できている。利用者の方の思いや希望を組み込んだ工夫に努めていきたい。朝の体操、口腔体操、午後のレクリエーションの実施率に課題が残った。
ユニット環境 及び衛生管理対策	職員によって対応に差があり丁寧におこなえるよう、写真を活用するなど視覚的工夫を行い、周知を図りたい。月間目標に挙げることによって意識付けに努めた。
スタッフの連携 ・情報共有	基本的に連携とれている。利用者人数増加と同時に情報伝達の抜け落ちがみられ、ミスが増えることがあるため、確認書類は、連絡ノートに限定して確認の統一に努めた。

《総評:介護係長/生活相談係長》

目標稼働率 80%に対し 75.6% 一日の平均利用者 15.1 名

「安心した在宅生活を送れるよう支援する」ため、総合記録シートを活用した多職種間での情報共有の元、事例検討を行った。その結果として、ユニットでの記録の見直しや観察による異常の早期発見などの改善につながり、また多職種によるアセスメントが定着し丁寧なケアにつなげることができた。空床対策として、居宅介護支援事業所や近隣病院等への広報活動や情報サイトを活用して空室情報の案内を行った。実績として、前年度に比べて稼働率が上昇したが、目標稼働率に到達できなかった。定期利用者・不定期利用者は増えているが、平日の空床が目立っている。希望日が満床の場合は、空いているところを提案し空床減に努めていきたい。土日を含んだ利用希望者が多く、キャンセル待ちも増えており、空き次第連絡を取り、他施設への利用者流出を防いでいきたいと考える。また、急な不定期利用者への柔軟な対応やロング利用者も引き続き利用受付できるよう準備をして業務にあたりたい。今後はさらに定期的な近隣病院のソーシャルワーカーに対する広報活動に力を入れ、利用につながるよう努めていきたい。

4. III. デイサービス(〔介護予防〕通所介護)

4-1 利用者の状況(令和6年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 311 日

延べ人数	男	女	計
通所介護	1,766	4,846	6,612
総合事業(独自)	276	949	1,225
総合事業(A型)	0	0	0
合計	2,042	5,795	7,837

登録者人数	男	女	計
東温市	23	48	71
松山市	1	2	1
合計	24	48	81

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	73	138	211
要支援2	203	811	1,014
要介護1	1,004	1,195	2,199
2	309	1,942	2,251
3	139	1,113	1,252
4	278	231	509
5	36	365	401
計	2,042	5,795	7,837
平均要介護度	1.7	2.0	1.9

4-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個性性を把握し、それぞれに合った個別対応を実践	<p>① 在宅版総合記録シートを活用。情報の共有による個々の体調管理をサポート。ノーリフティングケアや口腔ケア等きめ細やかなサービス提供を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ミーティングの強化(朝礼・終礼)による情報共有の実施 ■ 在宅版総合記録シート、送迎シートの活用 <p>② HOL(hapiness of life)の提供を目指して、アクティビティの充実を図り、利用者の笑顔を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 紙芝居劇場やスタッフの趣味特技(ギター・篠笛・ピアノ・三味線など)を活かしたアクティビティの実践 <p>③ マシントレーニングや個別機能訓練等に取り組むことにより、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ マシントレーニングの実施(利用者約7割実施)。体力測定(利用者約8割実施) ■ 小集団体操(5名以下)の内容強化 <p>④ 認知症利用者が役割を持ち、在宅で穏やかに生活できるように寄り添った支援をする。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 奉仕活動(洗濯物干し、洗濯たみ、メモ紙づくり、シール貼りなど)の実践 ■ 脳トレプリントの工夫(スタンプラリーによる景品提供)による意欲向上
地域との交流を増やし、連携を深める	<p>① おとこ塾等へ参加し、利用者家族や地域住民との関係を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コロナの影響で地域サロン参加できず <p>② 突合などへの参加により、近隣の事業所との連携を図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 突合に参加して他の事業所のケアマネやヘルパーなどとの情報交換もできた。 <p>③ ボランティアの受け入れや地域(保育園・学校等)、家族(家族会等)との交流の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オカリナやコーラスのボランティア受け入れする。 ■ 近隣の小中学校、幼稚園等に卒業・卒園メッセージを届けた
働きやすい職場作りの実践。基礎介護力を高め、質の高いケアを提供	<p>① 業務内容の見直し(記録のデジタル化と省力化、希望休が取得できる体制作り等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ インカムを導入した。 ■ 休暇の希望確認をして、希望の日に休めるよう調整できた。 <p>② 施設内・外研修への参加をし、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内部研修は概ね文書回覧。毎月デイ向上会でデイでの勉強会を実施。 ■ 外部研修(県老協協デイサービスセンター研修会)に参加した。 <p>③ ノーリフティングケアの環境整備や勉強会を実施し、利用者や職員の身体的負担軽減を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ デイにリフトはないし、該当者がいないため、勉強会や使用には至っていない。
安定した運営のため、広報活動を増やし、新規利用者の獲得を目指す	<p>① 行事予定表とブログの充実を図り、広報・営業活動を通じて新規利用者の獲得を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 行事予定表の工夫(スタッフの趣味や特技、新人職員の紹介など)、ガリラヤ荘のブログでの取り組み発信 ■ 居宅介護支援事業所訪問でのPR活動(体験利用者 35 名、新規利用者 36 名) <p>② 年 5 回ちらしを作成し、近隣の居宅や利用者、地域住民に配布することで、デイサービスの取り組みを広める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ちらしを作成し、関係事業所や近隣事業所へ配布した。 ■ 11 月にデイサービスで体験会を開催し、好評で利用者1名獲得した。
業務の効率化と適正利益の確保に努め、安定した運営を目指す	<p>① 毎月の収支に関心を持ち、車輛や備品管理、電気代等のコスト意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月デイ会議内で利用者の動向を共有して、コスト意識に関する周知 ■ 送迎車両へのドライブレコーダーの導入による安全運転意識の向上し、事故減少。車輛の小さな傷や脱輪などあり。安全運転の勉強会実施。 <p>② 安定した運営のために加算を取得し、サービス提供内容の充実を目指す。来年の介護報酬改定の動向を確認し、準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ R6 年度より、中重度者ケア体制加算の算定。個別機能訓練加算や処遇改善加算などの変更点についてデイ向上会でスタッフに周知。
感染症対策、防災防犯対策を強化し、快適な居住環境を整備する	<p>① 感染症対策の研修に参加し、感染症の予防と利用者・職員へ周知して感染予防を徹底する。</p> <p>② 防災・防犯対策訓練に参加し、安心して利用できる環境を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者へ向けて、レクリエーションの時間に感染症対策や防災・防犯対策のお話をする機会を作った。

4.-3 その他の状況

内容	件数	備考
----	----	----

苦情解決件数	0	
事故報告件数	11	内、受診を伴う市への事故報告 1 件
ヒヤリハット件数	37	

《総評:通所係長》

目標稼働率 77.1%に対し 71.9% 一日の平均利用者 25.0 名 年度末登録者数 78 名

全体的に利用者の増減の幅は少なめであったが、各感染症の影響や利用者の状態変化等、稼働に影響している。広報活動や営業活動はチラシ・パンフレットを作成し定期的実施できたが、利用につながるよう継続していきたい。日々のアクティビティについて少しずつ変化させながら、皆さんに楽しんでいただけるように実施することができた。職員についての高年齢者も増加しており業務分担等、連携をとりながら取組んでいる。

5. IV.ホームヘルプサービス(訪問介護)

5.-1 利用者の状況(令和6年3月31日現在)

【利用状況】

延べ件数	男	女	計
身体介護	1	1,004	1,005
身体生活	139	416	555
生活援助	1,029	1,199	2,228
訪問型独自	154	895	1,049
計	1,323	3,514	4,837

【要介護度別延べ利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	17	195	212
要支援 2	837	137	700
要介護 1	162	1,076	1,238
2	484	880	1,364
3	488	147	635
4	35	338	373
5	0	178	178
計	1,484	3,148	4,632

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援 1	2	29	31
要支援 2	20	90	110
要介護 1	27	88	115
2	20	61	81
3	18	17	35

4	6	11	17
5	0	4	4
計	93	300	393
平均要介護度	2.1	1.7	1.9

5.-2 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ケアマネジャーやサービス事業者と情報共有を密にしながら利用者の体調管理に努める ② サービス担当者会議へ参加し関係機関との情報交換を図る ③ 利用者だけでなく、家族との交流も深め、問題の把握に努める。
職員研修	① 施設内研修への参加を通し全体の資質の向上を図る。 ② ホームヘルパー会(毎月)を開催しヘルパーの専門性の向上と情報共有を図る ③ 介護ネット(東温市)や、各事業所間の突合へ参加し意見交換や情報収集を図る ④ サービス提供責任者の業務を分担していく。常勤ヘルパーの専門性を高める。
安定運営の確保	① ホームヘルパー会での安全なサービス提供や接遇に関する学習を図る ② 介護支援専門員と連携し、広報活動を積極的に行い、新規利用者の獲得を目指す ③ 東温市のみにこだわらず、通勤範囲内で松山市を含めた訪問先を増やしていく。 ④ 特定事業所加算などの加算を取得することで、より質の高いサービスを提供することを心がける。

5.-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

<<総評:サービス提供責任者>>

目標稼働率 65%に対し 66.3% 一日の平均利用者 15.4 名 年度末登録者数 50 名

令和5年2月に常勤ヘルパーが1名入職し、4月にそれまで14時までの勤務だったヘルパーが常勤ヘルパーになり、常勤が3人の体制となった。令和5年3月、令和6年3月に登録ヘルパーが2名増員となった。しかし親の介護や本人の希望で訪問時間の制限がある登録ヘルパーが多く、シフト調整の難しく、新規利用の受け入れが出来ないことがあった。登録ヘルパーの高年齢化が進み、身体介護には向かず、主に生活援助の支援に派遣している場合がある。サ責も二人体制になってはいるが、訪問業務が多忙であるため、指導の時間が持てなかったりすることからうまく機能しているとは言えない。これからの課題として、常勤のヘルパー自身が適宜上司に相談しながら対応を判断し、他のヘルパーに対する指導等が出来るようにしていく必要があると考える。

6. V.居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

6.-1 利用者の状況(令和6年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当 月間人数 予防 32 件 介護 102 件 暫定利用 0 件

利用者	予防	介護

	男	女	男	女
東温市	9	23	29	72
松山市	0	0	1	0
計	9	23	30	72
	32		102	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	3	4	7
要支援 2	6	19	25
要介護 1	8	35	43
2	9	14	23
3	8	17	25
4	4	2	6
5	1	4	6
計	39	95	134

6.-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ニーズに適合した多様なインフォーマルサービスのプランへの位置付け。 ② 家族全体を包括的に支援するマネジメントの実施。 ③ ケアプランチェックにより、プラン内容や表現など、適切な評価が行えるプランニング技術の向上。
資質向上	① 専門課程の外部研修を受講し、最新の個別援助技術を身につける。 ② 在宅での生活の段階からデータの収集と評価をケアマネジメントへ活用。 ③ 地域包括支援センターと協働し、地域全体の課題の表出や問題の提起。
地域活動への参加	① 東温市地域包括支援センターや主任ケアマネの会と協働して災害時に備えたマネジメントを行い、勉強会やシミュレーションを通じて防災への意識を高める。 ② 地域支援活動の推進において情報を発信し、介護予防、地域を支える互助の大切さを伝える。 ③ 男性介護者の会を継続実施し、趣味活動や家族同士の交流を図る。

6.-3 その他の状況

内容	件数	備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評:居宅管理者》

介護支援専門員が4名体制となり、ソーシャルワークの経験がない新人教育のため速度感はやや遅いが担当件数は増加できている。専門的な知識の向上のため新制度や適切なケアマネジメントを目指すためトータルケアの勉強会への参加も行いつつ資質の向

上と信頼できる事業所を目指す。新規相談は年間 62 件で、前年よりやや減少しているものの、予防の担当件数は2倍に増加。利用者の軽度化が進んでいる。災害や感染症対策としては事業継続計画の周知と対策の検討を継続して行う必要があるため、引き続き防災への対策を強化する。

7. VI.在宅介護支援センター(委託事業)

7-1 活動実績報告

業 務 内 容	実績
東温市地域包括支援センターのランチの設置運営及び地域包括支援センター業務への協力	
パンフレット 作成部数(部)	356
民生児童委員協議会 出席回数(回)	10
市・包括・在支 調整会 出席回数(回)	10
第2層協議体 出席回数(回)	10
実態把握	
健康診査後の診察相談 相談実人数(人)	15
個別連絡・訪問等による実態把握(独居高齢者等) 実人数(人)	7
配食事業、緊急通報装置等の利用に係る調査 実人数(人)	7
総合相談支援	
相談支援 延べ人数(人)	391
高齢者虐待に関する相談・支援 延べ人数(人)	4

7-2 ふれあい・いきいきサロン参加事業

日 時	サロン等	場 所	人 数	内 容
2月21日	ここにこサロン	サードプレイス	7名	バルーンアート
合 計			7 名	

7-3 地域関連事業

	事 業 名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事 業	介護ネット東温	搜索訓練 メールでの連絡訓練	介護ネット東温
	東温市健康相談	診察相談 東温市地域包括支援センター出張窓口 介護相談及び広報支援	東温市健康推進課
	生活支援体制整備事業	第1層・第2層協議体 「助け合い・支えあいとうおん」 地域課題の表出 月1回実施 サロン活動のインタビュー	生活支援コーディネーター

《総評:在支担当》

地域支援活動については、実態把握や診察相談にて、地域の実情を把握することができた。

感染症対策の為縮小していたサロン活動は各地で開催されており、やふれあい給食は再開したものの経費面での課題が多く縮小傾向。配食サービスについては2事業所が助成を受けてのサービス提供を行っている状況。

相談支援内容として、介護保険以外の相談についてはノウハウが少ないため、内容に応じて必要な関係各所と連携を図った。

引き続き、地域の実態把握や関係機関の会議等へ参加し、関係の維持構築に努める。

8. 各部門報告(委員会活動を含む)

8.-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
避難訓練 (ガリラヤ荘)	R5年5月25日(日) 10:00-11:00	利用者 110名 職員 30名	地域の自主防災組織、消防署員監修の上通報訓練及び全体での避難訓練実施。消火器を使用した消火訓練、講演の受講。
夜間想定通報訓練 (ガリラヤ荘)	R5年12月18日 (火)18:45~20:00	職員 50名	夜間緊急時連絡表での非常招集訓練。通報訓練。
シェイクアウトえひめ (ガリラヤ荘)	R5年12月18日 (木)11:00-11:15	利用者 110名 職員 30名	愛媛県全体での地震を想定した安全行動をとる訓練を実施。模擬消火訓練実施。

8.-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催

令和5年度は5/8から新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し感染対策が緩和されたが、季節を問わず様々な感染症が流行していることもあり、毎月の委員会及び運営委員会などで平常時の感染予防対策について周知徹底を図った。感染症発生時には直ちにレッドゾーン対応し、施設全体で情報を共有し連携を図ることで感染拡大予防に努めた。

② 新型コロナウイルス感染症報告

職員やその家族が陽性になる事例は多数あり、その都度適切な感染対策を行った。令和6年3/26に中1丁目看護職員が新型コロナウイルス陽性となり直ちにレッドゾーン対応とした。しかし3/29に同ユニットの介護職員1名、4/4に介護職員1名、入居者1名の陽性が判明。入居者は軽症のため施設で隔離対応した。以降新たな感染者はみられず4/11にレッドゾーン解除とした。

	特養	短期	通所	その他	計
利用者	2	0	4	0	6
職員	6	1	7	3	17

③ インフルエンザウイルス感染症報告

令和5年11/14に南1丁目介護職員がインフルエンザA型の陽性者となり直ちにレッドゾーン対応としたが、11/17にユニット入居者1名と介護職員1名が陽性者となった。以降新たな陽性者がみられなかったため11/21にレッドゾーン解除とした。令和5年11/21に中1丁目職員がインフルエンザA型の陽性者となり直ちにレッドゾーン対応したが感染拡大し、結果ユニット内の入居者3名介護職員4名の計7名が陽性となった。そのうち1名は入院となった。以降新たな陽性者がみられなかったため12/1にレッドゾーン解除とした。

	特養	短期	通所	その他	計
利用者	4	0	0	0	4
職員	6	0	0	2	8

④ ノロウイルス感染症報告

R6年 3/7 に南 2 丁目の入居者 1 名が昼食前にリビングで多量の嘔吐あり、マニュアルに従い嘔吐物処理を行った。当該入居者は胆管炎で入院となった。しかし、3/8からほぼ毎日入居者と職員が発熱・嘔吐・下痢の症状がみられ、有症者の累計数が 10 名を超えたため 3/11 に中予保健所感染対策係と東温市役所長寿介護課に報告、以降 3/14 まで毎日中予保健所に感染状況を報告した。結果ユニット内の入居者 9 名、介護職員職員 6 名の計15名が罹患し、3/14 に新たな発症者がみられなかったため中予保健所から収束宣言をいただく。ユニット自体は 3/29 までレッドゾーン対応を行った。また、発症者の糞便時の排泄ケアについて発症後4週間は防護具着用にて 0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて処理するよう徹底した。

	特養	短期	通所	その他	計
利用者	8	0	0	0	8
職員	4	0	0	0	4

⑤ その他

毎日の朝礼や委員会・温英委員会の議事録などで情報提供を行い、定期的に『高齢者施設における環境ラウンド(自主点検チェックリスト)』を実施し意識づけを行う事で、職員が日常的に感染症予防を行う理由を理解したうえで実施できている。今後も様々な感染症の動向を注意深く観察しながら、引き続き感染対策を徹底していく。

8-3 褥瘡対策

褥瘡対策委員会の開催(毎月)

例年通りきめ細やかな観察・対策を行い、褥瘡予防に取り組んだ。令和 6 年度も皮膚科 Dr を含む栄養士や機能訓練指導員など、多職種で今まで以上に褥瘡予防に取り組んでいく。

8-4 権利擁護・苦情解決

権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)

令和 5 年度苦情件数 0 件

8-5 身体拘束・高齢者虐待対策

身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0 件 高齢者虐待件数 0 件

施設指針の周知、コロナウイルス感染予防のため、書面にて毎月不適切ケア等の事例検討を行い、虐待等に繋がらない環境づくりや意識付けをすることができた。総合委員会に参加して、ユニット以外の部署にも毎月報告を行った。年 2 回内部研修実施した。コロナウイルス感染予防を講じつつ、介護相談員来荘受入れをし、利用者の気持ちなど聞き取りして頂き、各部署に情報配布した。安全面での環境づくりをする際や、困難事例の際は安全を保ちつつ、拘束廃止、虐待防止の観点から、利用者様一人一人を尊重した、支援を行った。

8-6 栄養対策

給食委員会の開催(毎月)

栄養ケアマネジメントを実施。利用者の摂食状況や提供方法、献立等について施設長、各事業所職員、多職種、委託業

者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食を提供。また、便秘対策のため食物繊維の多い食事の提供を継続実施。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、食事イベントを行い、利用者により一層満足していただける食事提供に努めていきたい。

8-7 事故対策

① 安全委員会の開催(毎月)

毎月の状況報告及びヒヤリハット報告を確認し再発防止の注意喚起につながるよう各担当係とユニットリーダーが検討し総合委員会内においても活動を報告することができた。今後は発生数の多い事例について、特に重大アクシデントに発展しないよう日頃より注意喚起できる活動につとめていきたい。

② 事故状況・ヒヤリハット報告

I 月別発生件数(特養/短期入所別)

月	特養		短期		計	
	状況報告	ヒヤリハット	状況報告	ヒヤリハット	状況報告	ヒヤリハット
4月	12	39	5	4	17	43
5月	21	30	2	7	23	37
6月	19	51	2	21	21	72
7月	16	38	5	11	21	49
8月	21	42	2	5	23	47
9月	15	35	5	15	20	50
10月	16	34	3	18	19	52
11月	16	18	1	7	17	25
12月	27	31	1	4	28	35
1月	17	31	7	1	24	32
2月	17	29	1	4	18	33
3月	21	23	6	4	27	27
総計	218	401	40	101	258	502

II 内容別発生件数

状況報告	計
転倒※1	94
転落※2	72
傷※3	39
服薬ミス(落薬)	16
服薬ミス	13
内出血※3	11
他※5	4
誤薬	4
異食	2
胃チューブ抜去	2

誤嚥	1
総計	258

ヒヤリハット	計
内出血※4	222
転倒未遂	99
傷※4	46
他※5	46
転落未遂	32
異食未遂	18
服薬ミス未遂(落薬)	11
服薬ミス未遂	11
義歯未装着	8
服薬ミス(落薬不明)	6
対人トラブル	3
総計	502

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 軽度の発赤・腫脹、その他傷全般を含む(看護師による処置実施)原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

※4) 軽度の発赤・腫脹、その他傷全般を含む(看護師による処置不要)原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

※5) その他(ケアの方法等見直しが必要で合った事項)

III 報告レベルの内訳

※ヒヤリハットを含む、すべての状況報告

0	ヒヤリハット報告	502
I	未遂以外(怪我なし) または看護師による処置、バイタル異常	242
II	病院受診(異常なし)	4
III	病院受診(怪我ありまたは再受診必要)	10
IV	病院受診(入院加療必要)	2
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
他	精神的苦痛・機械・物品破損等	0
総計		760

IV 受診の内訳

事業所	内容	発生状態	発生日	診断
短期	転倒	歩行独歩	4/15	後頭部縫合
特養	転倒	歩行杖	6/19	異常なし
特養	転倒	歩行独歩	7/3	頭部打撲
特養	転落	車椅子座位	8/2	頭部打撲

特養	転倒	歩行独歩	8/16	異常なし
特養	転倒	歩行独歩	8/31	右大腿骨近位端骨折
短期	転倒	歩行独歩	9/5	左手首骨折(ヒビ)
特養	転倒	歩行歩行器	10/21	第1腰椎圧迫骨折(入院)
短期	転倒	排泄 PWC	10/21	左大腿骨頸部骨折(入院)
特養	転倒	歩行独歩	11/11	右橈骨遠位端骨折
特養	胃チューブ抜去	**	12/1	異常なし(再挿入)
特養	胃チューブ抜去	**	12/18	異常なし(再挿入)
短期	転倒	ベッド臥床	12/23	第3腰椎圧迫骨折
特養	転倒	歩行独歩	2/9	左大腿骨近位端骨折
特養	内出血	ソファー座位	3/10	左橈骨骨幹端骨折
特養	転倒	歩行独歩	3/25	右大腿骨近位端骨折

(考察)

事故発生件数については、アクシデントにつながる可能性のあるヒヤリハットと、状況から軽微なものを含め事故として取り扱うものを整理し、引き続き分析方法の見直しを図った。全体数としてヒヤリハット(日々の気づき)報告がでることで大幅に増加しているが、重大アクシデントを防ぐ材料として今後も継続する。今年度においては、歩行が可能な利用者の居室内での転倒・転落が増加しており、認知症の方々の見守りの難しさが課題となっている。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	施設内研修	実習等受入
4	辞令交付/入職式	新人職員研修	
5	居室面会再開 松山しののめ認定こども園花の日訪問 おとこ塾(滑川パーベキュー)	排泄リーダー育成セミナー 排泄ケア勉強会(光洋) 基礎介護勉強会(認知症ケア)	愛媛大学医学部看護科 松山学院高等学校
6	【中止】永眠者記念会 防災総合訓練(南方東自主防災合同)	法人初任者研修 排泄ケア勉強会(光洋) 基礎介護勉強会(認知症ケア) 感染症対策Ⅱ食中毒	愛媛大学医学部看護科
7	【中止】消防訓練(東温市防災センター) 地域共生えがお食堂 愛媛県老人福祉施設大会事例発表 職員会議	トータルケア勉強会【WEB】 基礎介護勉強会(認知症ケア) 感染症対策Ⅰ総合訓練① リスクマネジメントⅠ【集合/書面】	愛媛大学医学部看護科 東温高等学校 松山学院高等学校 嘉南薬理大学(台湾)
8	【中止】普通救命救急講習Ⅰ 里帰り推進 入居者レントゲン健診 職員ストレスチェック実施 四国老人福祉施設関係者研究大会事例発表	基礎介護勉強会(食事ケア) 身体拘束虐待防止Ⅰ【集合/書面】	愛媛県立医療技術大学看護科 人間環境大学看護科 松山学院高等学校 川内中学校(職場体験) 嘉南薬理大学(台湾)

9	<p>【中止】東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式</p> <p>【中止】防犯訓練</p> <p>LED 照明取替工事</p>	<p>法人管理職研修</p> <p>基礎介護勉強会(食事ケア)</p>	<p>河原医療福祉専門学校</p> <p>愛媛大学医学部</p> <p>嘉南薬理大学(台湾)</p>
10	<p>【中止】運動会</p> <p>【中止】秋祭(松瀬川獅子舞保存会施設訪問)(森地区神輿・奉納踊り)</p> <p>県伊方原発防災訓練参加</p> <p>長寿祝い撮影会</p>	<p>感染症対策Ⅲ感染症全般</p> <p>トータルケア勉強会【WEB】</p> <p>基礎介護勉強会(食事ケア)</p>	<p>河原医療福祉専門学校</p>
11	<p>【中止】ガリラヤ荘感謝祭 2022</p> <p>松山しののめ認定こども園収穫感謝訪問</p> <p>おとこ塾(秋の運動体験会)</p>	<p>法人 BCP 研修</p> <p>法人ネクストリーダー研修</p> <p>排泄リーダー育成セミナー</p> <p>感染症対策Ⅳ総合訓練②</p>	
12	<p>年末里帰り推進</p> <p>防災総合訓練/シェイクアウト訓練</p> <p>東温市社協共同募金歳末施設訪問</p> <p>東温市婦人会歳末訪問</p> <p>クリスマスツリー・クリスマスイルミネーション</p> <p>職員会議</p>	<p>感染症対策Ⅳ総合訓練②</p> <p>トータルケア勉強会【WEB】</p> <p>看取りⅠ【集合/書面】</p> <p>法令遵守/守秘義務【集合/書面】</p> <p>リスクマネジメントⅡ【集合/書面】</p>	
1		排泄リーダー育成セミナー	
2	<p>無線 LAN 配線・Wi-Fi 工事</p> <p>地域サロン出前講座</p>	身体拘束虐待防止Ⅱ【集合/書面】	聖カタリナ大学
3	<p>四国老人福祉学会事例発表</p> <p>東谷小学校訪問</p> <p>職員会議</p>	<p>排泄リーダー育成セミナー</p> <p>トータルケア勉強会【WEB】</p> <p>感染症対策Ⅲ(全般)【集合/書面】</p> <p>看取りⅡ【集合/書面】</p>	聖カタリナ大学
他	<p>通年</p> <p>毎月・誕生昼食献立</p> <p>毎月・イベント食(企画による)</p> <p>おやつ、お茶の時間(毎日)</p> <p>各外出(散歩・ショッピング他)</p> <p>訪問理容(ブルーライン・たかの子理容)</p> <p>訪問マッサージ</p> <p>東温市移動図書館「かぼちゃん号」</p> <p>訪問販売(移動スーパーとくし丸、パン屋)</p> <p>嘱託医 4 名(中川 Dr 内科、八木 Dr 皮膚科、吉田 Dr 精神科、河野 Dr 歯科)</p>	<p>委員会等活動</p> <p>運営会議/部長課長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策推進委員会 (BCP) ・感染症対策推進委員会 (BCP) ・安全対策推進委員会 ・運営改善委員会 (5S 改善・ICT 推進) <p>総合委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全(事故発生防止)委員会 ・衛生管理委員会(新型コロナ対策会議含) ・身体拘束廃止高齢者虐待防止委員会 ・給食委員会 <p>権利擁護・苦情相談委員会</p> <p>在宅委員会</p>	

体重測定(特養/短期:毎月) 入居者胸部レントゲン(年1回) インフルエンザ予防接種 新型コロナウイルス感染症予防接種	入所判定委員会 居宅会議(週例会) デイサービス会議 ヘルパー会議(訪問介護) 特養会議(リーダー会)/ユニット会
クラブ活動・ボランティア等	
[クラブ活動] 陶芸(隔週水曜日) 習字(月1回・第2水) 俳句会(第4水曜日)【書面】 音楽/風船バレー(各ユニット月1回) 縫布クラブ(第1火曜)【中止】	[ボランティア受入等] 奉仕活動 縫布ボラ(第1火曜日)【中止】 喫茶ベリベリ(特養・デイ隔月)【中止】 ほっこり喫茶(デイ・各週火水木)(法人地域共生) 介護相談員(基本:第1火曜日) オカリーナそよ風(季節毎・第3火曜日)〔再開〕

※)各感染症対策に伴い、書面開催または延期・中止あり

10.施設外研修の状況

【施設外研修】

研修項目	延数	全体		特養/短期		通所介護		訪問介護	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護		4	5	17	56	0	0	3	3
看護・保健・医療・感染症		3	4	3	3	0	0	0	0
防災・防犯		0	0	2	3	0	0	0	0
人材育成・マネジメント		3	4	8	28	1	1	0	0
専門(スキル向上・資格等)		1	5	4	7	0	0	1	1
行政(介護保険・制度他)		1	1	0	0	0	0	0	0
人事・労務管理・会計		0	0	0	0	0	0	0	0
他		13	21	3	6	2	2	0	0
小計		25	40	37	103	3	3	4	4
		居宅介護支援		合計					
研修項目		件数	人数	件数計	人数計				

介護	0	0	24	64
看護・保健・医療	0	0	6	7
防災・防犯	0	0	2	3
人材育成・マネジメント	0	0	12	33
専門(スキル向上・資格等)	4	6	10	19
行政(介護保険・制度他)	0	0	1	1
人事・労務管理・会計	0	0	0	0
他	0	0	18	29
小計	4	6	73	156

※)各感染症対策に伴い、オンライン及び書面開催を含む

11.職員の状況

部門等	前年度末	令和5年度当初				令和5年度中の状況				常勤換算
		退職	入職	異動	計	入職	異動	退職	計(年度末)	
特養/短期	83		+4		87				84	68.7
(介護職)	60		+3		63		±1	-3	60	50.3
(看護職)	9		+1		10				10	7.3
(その他)	14				14	+1		-1	14	11.1
デイサービス	15	-1			14			-1	14	12.6
訪問介護	9		+1		10				10	3.8
居宅	5				5				5	3.2
計	112	-1	+5	0	116	+1	±1	-5	113	88.3

※)医師等嘱託契約者の数は上記に含めず【医師4名、歯科衛生士1名、理学療法士1名(特養)、作業療法士2名(デイ)】

12.サービス別 利用状況一覧

特別養護老人ホーム「介護老人福祉施設」定員80名・8ユニット(1ユニット定員10名)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
要介護	1	30	31	30	31	31	30	0	0	0	0	0	183	
	2	0	0	0	0	0	0	31	30	31	31	29	183	
	3	498	525	510	422	386	300	279	240	248	211	192	248	4,059
	4	1,208	1,261	1,247	1,314	1,346	1,282	1,235	1,160	1,177	1,190	1,037	1,082	14,539
	5	532	533	525	598	682	780	873	890	834	918	895	1,019	9,079
総計	平均介護度	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.15
	延べ利用人数	2,268	2,350	2,312	2,365	2,445	2,392	2,418	2,320	2,290	2,350	2,153	2,380	28,043
	平均利用人数/1日	75.6	75.8	77.1	76.3	78.9	79.7	78.0	77.3	73.9	75.8	74.2	76.8	76.6
	稼働率	94.5%	94.8%	96.3%	95.4%	98.6%	99.7%	97.5%	96.7%	92.3%	94.8%	92.8%	96.0%	95.8%

ショートステイ「(介護予防)短期入所生活介護」定員 20 名・2 ユニット(1 ユニット定員 10 名)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
要介護	利用実人数	32	32	31	37	38	31	32	34	35	33	30	34	333
	1	30	19	22	41	62	17	0	10	5	13	12	55	286
	2	108	86	78	93	71	73	67	27	42	49	47	69	810
	3	97	138	125	162	235	235	258	257	300	274	208	206	2,495
	4	95	74	53	66	60	85	112	108	85	81	87	77	983
	5	65	69	86	88	74	74	86	99	87	50	60	52	890
	利用延べ人数計	395	386	364	450	502	484	523	501	519	467	414	459	5,464
	平均介護度	3.14	3.23	3.28	3.15	3.03	3.26	3.41	3.52	3.40	3.23	3.33	3.00	3.25
	平均利用人数/1日	13.2	12.5	12.1	14.5	16.2	16.1	16.9	16.7	16.7	15.1	14.3	14.8	14.9
要支援	利用実人数	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1.33
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	16	13	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	71
	利用延べ人数	16	13	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	71
	平均利用人数/1日	0.53	0.42	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.14	0.19	0.19
総計	延べ利用人数	411	399	368	454	506	488	527	505	523	471	418	465	5,535
	平均利用人数/1日	13.7	12.9	12.3	14.6	16.3	16.3	17.0	16.8	16.9	15.2	14.4	15.0	15.1
	稼働率	68.5%	64.4%	61.3%	73.2%	81.6%	81.3%	85.0%	84.2%	84.4%	76.0%	72.1%	75.0%	75.6%

デイサービス「(介護予防)通所介護」定員 35 名

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		25	27	26	26	27	26	26	26	26	25	25	26	311
要 介 護	利用実人数	57	61	58	58	56	57	61	61	62	59	59	59	59
	1	149	173	169	130	137	174	199	203	202	213	236	214	2,199
	2	222	259	233	239	228	196	198	180	146	102	115	133	2,251
	3	78	88	82	110	98	83	112	108	143	135	86	129	1,252
	4	54	54	56	60	51	34	19	42	35	31	34	39	509
	5	24	24	34	39	48	67	42	29	34	21	21	18	401
	利用延べ人数	527	598	574	578	562	554	570	562	560	502	492	533	6,612
	平均介護度	2.21	2.16	2.22	2.38	2.37	2.32	2.14	2.14	2.20	2.09	1.96	2.09	2.19
	平均利用人数/1日	21.1	22.1	22.1	22.2	20.8	21.3	21.9	21.6	21.5	20.1	19.7	20.5	21.2
要 支 援	利用実人数	15	15	16	17	17	16	13	13	13	17	18	17	15.6
	1	15	18	19	22	22	24	17	10	8	13	24	19	211
	2	83	89	88	87	94	82	69	70	79	105	81	87	1014
	利用延べ人数	98	107	107	109	116	106	86	80	87	118	105	106	1225
	平均利用人数/1日	3.9	4.0	4.1	4.2	4.3	4.1	3.3	3.1	3.3	4.7	4.2	4.1	4.09
総 計	利用延べ人数	625	705	681	687	678	660	656	642	647	620	597	639	7,837
	平均利用人数/1日	25.0	26.1	26.2	26.4	25.1	25.4	25.2	24.7	24.9	24.8	23.9	24.6	25.2
	稼働率	71.4%	74.6%	74.8%	75.5%	71.7%	72.5%	72.1%	70.5%	71.1%	70.9%	68.2%	70.2%	72.0%

ホームヘルプサービス「(介護予防)訪問介護」

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
要 介 護	利用実人数	18	18	20	21	18	19	24	23	23	22	23	24	21.1
	1	60	60	60	61	84	94	110	151	144	144	150	120	1238
	2	125	140	142	145	124	115	139	100	103	73	83	75	1364
	3	32	38	42	45	41	37	43	37	45	78	74	123	635
	4	47	56	62	56	61	49	42	0	0	0	0	0	373
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	45	45	40	7	178
	利用延べ件数	264	294	306	307	310	295	334	333	337	335	314	359	3,788
	平均介護度	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	1.8	2.4
総 合 事 業 / 要 支	1	3	3	3	3	2	1	2	2	3	3	3	3	31
	2	8	9	10	10	10	11	8	8	8	9	9	10	110
	利用実人数	11	12	13	13	12	12	10	10	11	12	12	13	11.8
	利用延べ件数	12	12	13	13	12	12	11	10	11	12	13	13	144
障 害	実人数	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0.7
	訪問回数	0	0	0	0	5	4	4	4	4	5	4	4	34
総計	実人数	29	30	33	34	31	32	35	34	35	35	36	38	33.5
移 動 支 援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	移動支援延べ件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
要介護	1	39	40	40	36	36	37	42	43	45	46	47	43	494
	2	32	33	33	34	35	31	25	26	25	20	22	23	339
	3	17	18	20	19	19	19	24	24	25	29	22	25	261
	4	9	9	7	7	5	3	2	4	5	4	7	6	68
	5	4	3	4	5	5	7	7	5	5	5	5	5	60
	介護 利用人数	101	103	104	101	100	97	100	102	105	104	103	102	101.8
	介護 稼働率	72.1%	73.6%	74.3%	72.1%	71.4%	69.3%	71.4%	72.9%	75.0%	74.3%	73.6%	72.9%	72.7%
要支援	1	6	6	6	7	9	9	8	8	7	7	7	7	87
	2	10	13	13	14	16	16	15	17	18	22	22	25	201
	予防 利用人数	16	19	19	21	25	25	23	25	25	29	29	32	24.0
	予防 稼働率	50.0%	59.4%	59.4%	65.6%	78.1%	78.1%	71.9%	78.1%	78.1%	90.6%	90.6%	100.0%	75.00%
総計	介護+予防 利用人数	117	122	123	122	125	122	123	127	130	133	132	134	125.8
	介護+予防 稼働率	68.0%	70.9%	71.5%	70.9%	72.7%	70.9%	71.5%	73.8%	75.6%	77.3%	76.7%	77.9%	73.16%
新規利用人数		8	8	4	3	9	5	7	3	4	5	2	4	62.0

	特別養護老人ホーム 定員80名 【介護老人福祉施設】	ショートステイ 定員20名 【短期入所生活介護】	デイサービス 定員35名 【通所介護】	ホームヘルプサービス 20名/日(目標) 【訪問介護】
目標稼働率	96.0%	80.0%	77.1%	65.0%
実績稼働率	95.8%	75.6%	71.9%	66.3%
増減	-0.2	-4.4	-5.2	1.3
前年稼働率	92.9%	66.3%	66.2%	66.9%
対前年比	2.9	9.3	5.7	-0.7

2023 年度(令和 5 年度)
ガリラヤ久米 事業報告

〔事業の種類〕

I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 29 名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 10 名
III. グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)	定員 18 名
IV. 介護付有料老人ホーム(〔介護予防〕特定施設入居者生活介護)	定員 35 名(30 室)
V. デイサービス(地域密着型通所介護)(介護予防通所サービス)	定員 18 名
VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	

1.ガリラヤ久米(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り 安心して生活できる ケア構築	<p>① 専門職として基礎介護力を高め、多職種連携による、重度化ケアに対応した生活支援の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノーリフティングケア推進への取組み(令和 4・5 年度ノーリフティングケア普及啓発事業参加) ■ 内部研修(新任・現任研修、看取り介護研修 他)開催 ■ 外部研修への積極的参加による知識・技術等の習熟 ■ 運営会議の開催による情報の共有、多職種連携 [全 12 回 ※毎月] ■ 施設部門会議の開催による、入所部門の情報の共有 [全 12 回 ※毎月] ■ 朝礼(全体)の開催 [月～金] <p>② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止を徹底する。(身体拘束 0 件目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 身体拘束・虐待防止委員会開催 [全 4 回] ■ 内部研修(拘束虐待防止)開催 [全 2 回※書面開催] ■ 家族との面会機会の確保 <p>③ 多職種協同による、根拠に基づいたケアを実践し、重症化予防に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ トータルケア研修会の定期的な開催等による個別ケアに関する知識・技術の向上 ■ 定期的なカンファレンスの実施によるケア検討
やりがいを持ち 働き続けられる 職場づくり	<p>① 組織風土の浸透及び活性化を図り、職員一人一人が生きがいとやりがいをもって働き続けられる職場づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 人事評価制度による適正評価の実施にて働きがい確保 ■ 定期的な職員面談により相談・指導の実施とフォローアップ体制の確保 ■ リフレッシュ休暇取得推進(7 連休取得または分割取得) <p>② 福祉の専門職として各事業所・部署間のチームワーク体制を維持し、運営に関する課題改善をより効果的に実践できる環境に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 部課長会議の定期開催(水曜日)による情報共有及び課題整理・対応の実施 ■ 主任・リーダー等の定期的な会議・カンファレンスの開催 ■ 事業所・ユニット間の人事異動等による適切な環境の保持 <p>③ スタッフが成長できる内部研修の実施、及び外部研修への参加支援を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内部研修の開催 [全 22 回(書面開催 2 回) 参加者計 354 名] ■ 外部研修への参加 [全 80 回 参加者計 98 名]

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 職員のメンタルヘルスに関する取組みの実施(ストレスチェック・フォローアップ研修など) <p>④ 外国人介護従事者の定着・育成のための体制づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 定期的な面談の実施により不安や課題解決への積極的なかわり ■ 組合担当者との綿密な連携と相談・支援の実施
地域福祉の確立	<p>① 地域共生センター「あいりん」の活動を中心に、地域の福祉拠点を目指し、関係機関との連携・地域の福祉ニーズを捉えた取組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センターとの連携[各種会議・研修参加] ■ ふらりカフェの定期的な実施により地域住民との関係づくり <p>② 地域行事活動、防災・防犯活動の協力等、学校、保育、他関係機関との連携を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 介護福祉士養成校実習・看護師養成校実習・中学生職場体験実習等の受入 ■ 地域防災総合訓練「シェイクアウトえひめ」参加 ■ 地域行事(地方祭・水路清掃等)への参加 <p>③ 在宅生活をトータル的にサポートするため、地域の実情に合わせた活動の実現に向けた情報収集、広報活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センターの部会参加による関係機関との連携、地域福祉活動への参画。
職場環境改善	<p>① 介護ロボット・ICT 活用による業務省力化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 見守り機器(眠りスキャン)の導入による睡眠状態の可視化・生活の質向上への取組み ■ 記録システム電子化による業務改善への取組み <p>② ノーリフティングケアを推進し、安心安全なケアを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 定期的な研修等により職員への取組みの意識向上 ■ 移動式リフト増備・関連備品の整備 <p>③ 業務の可視化を行い、業務の効率化・環境改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生産性向上に向けた課題の抽出・取組み内容の検討
安定運営の確保	<p>① 選ばれる事業所づくり、新規利用者獲得に取組み、利用者の増加と稼働率向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運営会議での実績確認及び検討 [全 12 回] ■ 部課長会議[全 17 回]での検討 <p>② 各事業所において収益向上・収支改善を図り、適正利益を確保して、安定した運営を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各種会議による運営状況の共有と課題の確認 ■ デイサービス運営改善に向けた取組 ■ 物価高騰にたいして備品・衛生用品等の見直し ■ 電気料金高騰等に対する節電へ検討と取組み <p>③ 介護ロボット・ICT 導入を推進し、業務効率化及び生産性向上を図る。</p>
快適な住環境の整備、事業継続体制の確保	<p>① 施設の整備・環境保全に努め、快適な住環境の維持、より良いサービス提供を目指す。</p> <p>② 感染症予防対策の徹底に取り組む、大規模クラスター発生防止に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 衛生管理委員会開催 [全 12 回] ■ 内部研修(感染症)開催 [全 2 回] ■ 職員への感染予防啓発の取組み・文書等の配布による予防意識の維持 <p>③ 事業継続計画(BCP)の運用と研修等の取組みにより、大規模災害等の際の緊急時におけるサービス提供体制を維持構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ BCP(事業継続計画書)の内容の見直し・検討

1-Ⅱ.新型コロナウイルス感染症対策に関する報告

新型コロナウイルス感染者数(令和5年4月～令和6年3月)

	入所者	介護職員	看護職員	その他職員	合計
小規模特養	9	11	2	2	24
グループホーム	1	2			3
介護付有料	15	8	2	1	26
デイサービス	8	1	2		11
居宅介護支援				1	1
合計	33	22	6	4	65

① 感染対策 設備・備品

1. 衛生用品、防護具等の対策備品の管理
2. 不織布マスクを全スタッフに配布
3. 抗原検査キットを全スタッフに配布
4. フェースシールドの支給と食事介助時等の装着
5. 共用箇所への手指消毒用アルコールの設置

② 感染対策 環境整備

1. 各事業所および各ユニットのオゾン発生装置メンテナンス
2. 共用部分(手すり・ドアノブ等)の消毒(毎日定時に実施)
3. 定期的な換気

③ 事業所の対応

入所部門(小規模特別養護老人ホーム・グループホーム・介護付有料老人ホーム)

1. 面会方法の見直し継続
 - ・面会スペースでの直接面会
 - ・オンライン面会
 - ・居室面会(看取り対応等)
2. 訪問理美容・訪問マッサージの再開
3. 実習生の受入
4. 行事・イベントの再開

短期入所(ショートステイ)

1. 受入時の健康状態確認継続 ※必要に応じ抗原検査実施
2. 新規利用・受入期間の調整継続

通所介護(デイサービス)

1. 受入時の健康状態確認継続 ※必要に応じ抗原検査実施
2. 新規利用・受入期間の調整継続
3. 各ボランティア、実習等の受入見直し継続
4. 行事・イベントの見直し継続

□居宅介護支援

1.各事業所・地域との連携継続

④ スタッフの対応

□日常生活での行動

1. 県内の感染状況等の周知・注意喚起を実施
2. 県外移動等の事前申告制の廃止、県外移動時等の健康観察は継続

□体調管理

1. 毎日の健康チェックと出勤時の検温実施
2. 体調不良時の報告、医療機関受診の励行
3. 勤務中における体調不良時の抗原検査実施

□施設内の移動等について

1. 通常時の移動制限等は無し
2. 会議・委員会活動・行事等の通常開催

2. I .小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

2.-1 入所者の状況(令和5年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和6年3月末現在29名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
4	5	9	1	7	8

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	9	20	29
平均年齢	82.3	91.6	88.7
最高齢	97	102	-
最年少	57	84	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
介護1	0	0	0
介護2	0	0	0
介護3	1	1	2
介護4	5	9	14
介護5	3	10	13
平均	4.2	4.5	4.4

2.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	3	44
5月	1	17
6月	1	24
7月	4	39
8月	3	33
9月	3	26
10月	2	11

	実人数	延日数
11月	1	15
12月	2	38
1月	2	10
2月	0	0
3月	1	5
合計	23	262
月平均	1.9	21.8

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	5	4
心疾患	0	2
脳梗塞	0	2
尿路感染	3	4
腸閉塞	1	2
骨折	0	0
食欲不振	0	1
肝機能低下	0	0
腎機能低下	0	1
その他	6	7
合計	15	23

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	3	4
在宅酸素療法	1	0
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	3	3
インシュリン注射	0	1
痰の吸引(常時)	0	0
合計	7	8

※緊急搬送回数 0回 (前年度 0回)

2.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ 多職種協同による「状態確認(ダブルチェック)」と「ケアの方法検討(カンファレンス)」の実践 ■ エビデンスに基づいたケアの実施(BPSDの悪化、誤嚥性肺炎、尿路感染等の予防)

	<ul style="list-style-type: none"> ■ ノーリフティングケアの取り組み、実践
イベント企画	≪全部門≫ <ul style="list-style-type: none"> ■ 感染予防対策を徹底した上でのイベント開催 ■ ブログ、インスタグラム等で施設活動や生活の様子を発信 ■ 感染状況に応じた面会の実施、地域、家族とのつながり
環境整備	≪全部門≫ <ul style="list-style-type: none"> ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進 ■ 季節感を感じる飾りつけ等の環境づくり
研修運営	≪全部門≫ <ul style="list-style-type: none"> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催(感染対策に配慮した研修) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 感染症・災害に係る業務継続のための研修・訓練

2.-4 運営推進会議の状況

開催日等	内容
第1回 令和5年5月24日 14:00～15:30 出席者7名 職員9名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 ※感染症対策のため書面開催 令和4年6月～令和4年7月報告 意見照会 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第3回 令和5年9月27日 13:30～15:00 出席者5名 職員10名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第4回 令和5年11月27日 13:30～14:30 出席者7名 職員8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第5回 令和6年1月25日 13:30～14:30 出席者7名 職員8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第6回 ※3月の開催が延期となったため 令和6年4月24日 13:30～14:30 出席者5名 職員8名	④ 活動状況報告 ⑤ 活動状況に関する評価 ⑥ 要望、助言等

≪総評≫

目標稼働率 96.6%に対し 97.3%。総延べ入院(外泊)日数 262日 平均要介護度 4.4

特別養護老人ホームは、重度で基礎疾患がある方が多いが、ご入居者の入院日数はこれまでで最も少ない日数となった。また、年度入院者のうち、約 70%は上半期の入院となっており、その後は冬季も含めて特に体調を崩される方が少なかった。ご入居者の細やかな変化に注意し、丁寧に安定したケアを提供することで、健康に安定した体調で過ごしていただくことができた。

また、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行となってからも施設内で感染症の発生が認められたが、基本的な感染対策

は継続することで、大規模な感染拡大や罹患者の重症化を予防し、事業継続することができた。

事業所内の活動では、感染対策の緩和に伴い、動物園への外出を始め、制限のあったイベントも徐々に再開することができたことで、日常生活の中に楽しみを持って過ごしていただくことができるよう努めた。

その他、ケアの取り組みとして、令和 5 年度は愛媛県のノーリフティングケア普及啓発事業に参加し、ノーリフティングの取り組みを進め、腰痛者の発生を減らすことができた。

年度末からは、介護記録システム、見守り機器(眠り SCAN)を導入し、ICT 化を進めている。今後の高齢化社会や介護現場の人材不足に対応するため、介護 DX、生産性向上の取り組みを進め、良質なケアの提供を継続していきたい。

3.Ⅱ.ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)

3.-1 利用状況(令和 6 年 3 月 31 日現在)

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期入所	2	2	4
短期入所	1135	1857	2992
合計	1137	1859	2996
平均利用者数	3.1	5.1	8.2

実人数	男	女	計
石井・浮穴・久谷	2	4	6
小野・久米	5	22	27
桑原・道後	3	3	6
生石・味生	0	0	0
味酒・清水	0	0	0
雄郡・新玉	0	0	0
垣生・余土	0	0	0
東・拓南	1	3	4
三津浜	1	1	1
内子	0	0	0
東温市	2	1	3
西条市	1	0	1
滋賀県	1	1	2
合計	16	35	51

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	2	0	2
要支援 2	0	2	2
要介護 1	8	342	350
要介護 2	82	541	623

要介護 3	946	320	1266
要介護 4	87	122	209
要介護 5	12	532	544
平均介護度	3.0	3.0	3.0

《総評》

目標稼働率 85.0%に対し 81.9%。一日の平均利用者 8.2 名

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行されたが、ショートステイでは、利用開始時のご利用者の健康状態に留意するとともに、安全、安心してサービスをご利用いただけるよう施設内での感染症予防対策に努めた。ショートステイでの大きな感染拡大はなかったが、8 月と 10 月に感染症の発生及び感染対策を実施したことで、利用を控えられるケースがあったために稼働が低下した。いつでも安心して利用できるサービスとして、感染症対策を今後も検討していく必要がある。

感染対策の緩和に伴い、ご利用者の生活も制限が緩和され、イベント等を実施することができた。今後も、個別支援の充実を図り、家族、地域に安心していただけるようなサービス提供を目指していきたい。

4.Ⅲ.グループホーム（〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護）

4.-1 入居者の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

【入居・退居状況】

待機者数（令和 6 年 3 月末現在 18 名）

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
1	5	6	0	6	6

【年齢構成】

	男	女	全体
入居者数	2	16	18
平均年齢	90.5	90	90
最高齢	91	96	96
最年少	90	73	73

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	4	4
2	0	2	2
3	1	2	3
4	1	7	8
5	0	1	1
平均	3.5	2.9	3.0

4.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数		実人数	延日数

4月	1	5	11月	3	57
5月	0	0	12月	1	10
6月	0	0	1月	0	0
7月	0	0	2月	1	5
8月	0	0	3月	1	11
9月	0	0	合計	8	93
10月	1	5	月平均	0.67	7.8

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	2	2
心疾患	1	0
脳梗塞	0	0
腎機能低下	0	0
骨折	0	1
その他	3	1
合計	6	4

※緊急搬送回数 0回 (前年度 0回)

4.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。
イベント企画	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ 感染予防対策を徹底した上でのイベント開催 ■ ブログ、インスタグラム等で施設活動や生活の様子を発信 ■ 感染状況に応じた面会の実施、地域、家族とのつながり
環境整備	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催(感染対策に配慮した研修) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 感染症・災害に係る業務継続のための研修・訓練

4.-4 運営推進会議の状況 ※)書面開催

開催日等	内容
第1回 令和5年5月24日	1.活動状況報告

令和5年4月～令和5年5月報告 意見照会 7名	2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第2回 ※感染症対策の為書面開催 令和5年6月～令和5年7月報告 意見照会 7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第3回 令和5年9月27日 令和5年8月～令和5年9月報告 意見照会 7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第4回 令和5年11月27日 令和5年10月～令和5年11月報告 意見照会 7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第5回 令和6年1月25日 令和5年12月～令和6年1月報告 意見照会 7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等
第6回 令和6年4月24日※3月分延期開催 令和6年2月～令和6年3月報告 意見照会 7名	1.活動状況報告 2.活動状況に関する評価 3.要望・助言等

《総評》

目標稼働率97%に対し97.5%。総延べ入院(外泊)日数93日で、前年度と比べ入院者数の増加となった。重度化に伴い、心疾患での入院や看取りなどあったためと思われる。

昨年と同様に、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携のケアを目指してきた。

入所者の状況については、平均要介護度3.0(R6.3.31)と、重度化がすすんできており、今年度も看取りケアを2名実施した。今後も、重度化対応や看取りについて、適切な対応ができるようスタッフの知識・技術の向上に努めていきたい。平均年齢は90歳と高齢であり、健康管理と丁寧なケアの実践を通して、重度化予防に努めた。

新型コロナウイルス感染症について、愛媛県内の発生状況に留意し、感染症対策を実施の上、安心して利用していただけるよう努めた。グループホームでは職員のコロナ感染は二件あったものの、利用者に感染することなく最小限にとどめる事ができた。5類移行となり、染対策を行いながら、行事を工夫し少しでも楽しみが増えるように実施した。おやつを作る、近所に散歩に行く、施設内の鯉に餌をあげるなど、日々の生活の行動範囲がコロナウイルス対策期と比べて格段に広がったと思う。認知症の進行を予防するため、日々生活の中に楽しみを見つける事ができるよう働きかけた。

今後も感染症対策を続けながら、個別支援の充実や、家族の協力も得られる働きかけに工夫し、その人らしい暮らしの提供を目指したい。

5.IV.介護付有料老人ホーム((介護予防)特定施設入居者生活介護)

5.-1 入居者の状況(令和6年3月31日現在)

【入居・退居状況】 待機者数(令和6年3月31日現在 単身20名 夫婦4組 計24名)

出身地 保険者	保険者別入居者数			令和5年度中の移動状況					
				入居			退居		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
松山市	5	23	28	2	7	9	3	6	9
東温市	0	1	1	0	0	0	0	0	0

砥部町	1	1	2	0	0	0	0	1	1
四国中央市	0	1	1	1	1	2	1	0	1
西条市	0	1	1	0	0	0	1	0	1
新居浜市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇和島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	27	33	3	8	11	5	7	12

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	6	27	33
平均年齢	91.7	89.6	90.0
最高齢	95	101	101
最年少	87	70	70

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
自立	0	0	0
要支援1	1	3	4
要支援2	1	4	5
要介護1	1	3	4
2	1	9	10
3	1	5	6
4	1	3	4
5	0	0	0
平均	1.8	1.88	1.86

5.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	2	28
5月	2	31
6月	2	11
7月	3	37
8月	8	90
9月	5	54
10月	3	21

	実人数	延日数
11月	2	10
12月	3	43
1月	1	20
2月	1	3
3月	3	44
合計	35	392
月平均	2.9	32.7

【疾患名】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	6	3
心疾患(心不全等)	4	3
尿路感染	0	0
骨折	3	1
貧血(出血)	2	0
脳出血・脳梗塞	1	3
コロナウイルス感染症	7	0
带状疱疹	1	0

【医療行為】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	0	0
在宅酸素療法	0	2
人工肛門	0	1
尿道留置カテーテル	0	1
インスリン注射	1	1
痰の吸引(常時)	0	0
合計	1	5

癌	1	0
蜂窩織炎	1	0
胆石	1	0
その他(痔、めまい)	2	4
合計	29	14

緊急搬送回数 1 回 (前年度 4 回)

5.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行った。 ■BPSD の悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践した。
イベント企画	《全部門》 ■ イベント開催 4 月(お花見散歩)(お花見弁当)(フラワーアレンジメント) 5 月(母の日お祝い会)(若葉昼食会) 6 月(あじさいドライブ)(父の日お祝い会)(101 歳お祝会) 7 月(コロナウイルス感染症拡大のため中止) 8 月(コロナウイルス感染症拡大のため中止) 9 月(敬老会) 10 月(運動会)(コスモドライブ)11 月(文化祭)12 月(忘年会)(クリスマス会) 1 月(初詣)(新年会)(書初)2 月(節分)(ハレンタイン) 3 月(菜の花ドライブ) ■ 体操・散歩(毎日)、ピアノ音楽会(毎週)、誕生会・散歩表彰式・カラオケ(毎月) ■ ボランティア受入(新型コロナ感染拡大予防のため中止)
環境整備	《全部門》 ■ 居室担当制・備品整備 ■ 大掃除(エアコン・窓・換気扇)6・12 月 ■ 各箇所の消毒、換気
研修運営	《全部門》 ■ 年間計画に基づく各種研修の開催(感染対策に配慮した研修) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 感染症・災害に係る業務継続のための研修・訓練

《総評》

R5 目標稼働率 91%に対し実績 92.4% 総延入院日数 392 日(外泊は除く) 平均要介護度 1.86(R6.3.31)

入居者の高齢化及び重度化に伴う看取りや重介護への対応、また、軽度の入居者へのアクティビティの充実や精神面のフォローなど、職員は多種多様な技術や知識、観察力、コミュニケーション能力を求められる状況である。今後も健康管理と丁寧なケアを行い、多職種が連携することで、日々の変化を早期に発見し、穏やかに過ごして頂けるように努めていきたい。

新型コロナウイルスの影響で面会や外出行事の制限が続いているが、生活の中に生きがいや季節を感じていただけるように、行事等を企画し行った。また、施設での生活の様子などを SNS 等で情報を発信することで、ご家族等にも安心していただけるよう取り組んだ。今後も入居者、ご家族に安心して生活いただける生活支援を目指していきたい。

6. V. デイサービス(地域密着型通所介護)

VI.デイサービス(介護予防通所サービス)

6.-1 利用者の状況(令和6年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 310日

延べ人数	男	女	計
地域密着通所	117	2751	2868
介護予防通所	0	1288	1288
	117	4039	4156
平均利用者数	0.4	13	13.4

登録者人数	男	女	計
石井・久谷	0	8	8
小野・久米	1(1)	43(1)	44(2)
桑原・道後	0	1	1
雄郡	0	0	0
東拓南	0	0	0
合計	1(1)	52(1)	53(2)

※) () …中止者を含む

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	0	659	659
要支援2	0	629	629
要介護1	0	1883	1883
2	0	656	656
3	66	139	205
4	8	51	59
5	0	65	65
平均介護度	3.5	1.2	1.2

6.-2 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	<p>①人生 100 年時代を人が人らしく自立して生活をしていくために、環境や要因を考察しながら個別ケアの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■体力測定を実施し、結果の報告(家族及びケアマネジャー) ■体力測定結果や起居動作の状況に合わせた、マシントレーニング等の見直し ■LIFE の活用 <p>②HOL(happiness of life)の提供を目指して、レクリエーション等アクティビティの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■参加型レクリエーション <p>③7つの基本動作を踏まえた上でのマシントレーニング、レッドコードを含む個別機能訓練を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■利用者の状態・状況に合わせたマシントレーニング等のメニューの設定

	<p>■トレーニング成果の報告(見える化)による継続の働きかけ</p>
地域との交流	<p>①地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。</p> <p>■地域連絡会への参加</p> <p>②新型コロナウイルス感染予防を考慮しながら、できる範囲での行事・イベント活動を実施する。また、地域の高齢者に向けた情報発信を行う。</p> <p>■レクだよりでの情報発信。</p>
職員研修	<p>①デイサービスにおける専門業務(マシン・レッドコード技能、送迎業務など)について継続研修を行う。</p> <p>②施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。</p> <p>■松山市主催の事業者説明会への参加</p> <p>■年間計画に基づく各種研修の開催</p>
安定運営の確保	<p>①長期入院や他サービスとの併用による利用率の状況を把握し、介護支援専門員と連携をとりながら調整を行う。</p> <p>② プログラムの見直し等を行うことで利用者の満足度高め、利用者の増加、利用回数の増加に繋げ、運営の安定化を図る。</p> <p>③ 新規登録者の安定獲得を目指すため、定期的に情報を発信するとともに、居宅と密に連絡を取り、営業活動に取り組む。</p>

6.-3 運営推進会議の状況

開催日等	内容
<p>第1回 令和5年9月27日</p> <p>令和5年4月～令和5年9月報告</p> <p>参加者 9名</p>	<p>① 活動状況報告</p> <p>② 活動状況に関する評価</p> <p>③ 要望、助言等</p>
<p>第2回 令和6年4月24日※3月実施分延期開催</p> <p>令和5年10月～令和6年3月報告</p> <p>参加者 8名</p>	

6.-4 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0件	
事故報告件数	8件	転倒 1件
ヒヤリハット件数	6件	<p>マシン設定ミス 4件</p> <p>入浴声掛けミス 1件</p> <p>車接触未遂 1件</p>

《総評》

新規利用者獲得、また利用継続のため関係機関への定期的な情報発信、情報共有を積極的に行い、利用体験者及び新規利用者の獲得に取り組んだ。また、新規利用開始後は、利用者の運動機能を把握するために、体力測定を定期的実施し、意欲向上につながる工夫や、継続してトレーニングできる環境づくりに努めた。

年間を通じて継続して上記の活動を実施した結果、下半期の稼働率の向上につながったと思われる。今後も取り組みを継続し、安定した事業運営に努めていきたい。

また、利用者の楽しめるサービス、元気につながるサービスの提供に努め、住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるよう

サービスを充実していきたい。

7. VII.居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

7.-1 利用者の状況(令和6年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当月間人数 予防 17 件 介護 58 件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
小野・久米	4	8	3	32
石井・浮穴・久谷	0	0	3	5
湯築・桑原・道後	1	0	1	3
味酒・清水	0	1	0	0
生石・味生	0	1	0	0
三津浜	0	0	0	1
東温市	0	2	2	4
松前町	0	0	0	1
砥部町	0	0	1	0
滋賀県	0	0	1	1
計	5	12	11	47
	13		58	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	3	11	14
要支援2	2	1	3
要介護1	6	18	24
2	3	11	14
3	2	8	10
4	1	1	2
5	0	8	8
計	17	58	75

7.-2 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容の振り返り
在宅生活の維持	① 在宅生活の維持に努め、トータルケアに基づいた支援や事業所と協働に視点を置き取り組むことがで

	<p>きた。</p> <p>② 在宅生活の場が、サービス付き高齢者住宅やショートステイの長期利用など、自宅以外となる場合も増え、重度者のケアが増えている。施設から連絡がないこともありスタッフとの関わりをもっと密にしなければと考える。</p> <p>③ 本人・家族の望む生活の齟齬の改善にもっと視点を置くべきだった。認知症の場合、家族意見を優先してしまう場合もあった。</p> <p>④ 外部研修も進んで取り組むことができた。社会資源調査を行うことでより地域の様子を理解でき、今後のマネジメント、地域で暮らすことの意義を考えていきたい。</p>
資質向上	<p>① 事業所内・外の研修に参加し、在宅生活に必要な知識向上を目指すことができた。医療知識の理解や薬の効果・副作用など不十分な点を向上させたい。</p> <p>② トータルケア研修の参加、日頃から職員同士話し合いを持ち、根拠に基づいたケアができるよう取り組んだ。</p>
地域活動への参加	<p>① OK だよりの編集委員としての活動や、主任ケアマネとして社会資源調査を行い、複数のサロン参加もできた。今後も、民生委員との関りや包括を通しての依頼などは積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>② ふりカフェのメンバーになり地域の理解や関わりを持つことができた。</p>
安定運営の確保	<p>① 順調に対応件数は増えている。丁寧な支援を心がけ、選んでもらえる事業所を意識して業務を行った。</p> <p>② 職員同士コミュニケーションをとることができ、根拠を明確にし必要な理由や法令遵守に対する共通認識を深めるとともに、価値観の違いを認識し認め合うことができたと考える。居宅としての方向性を持ちやりがいを持って働けるようにしていきたい。</p> <p>③ 居宅のことだけを考えるのではなく、法人内の事業所との連携、重度な方をどう入所までつなげていくか、法人全体の安定運営を踏まえた居宅の立ち位置を理解し、協働ができるように今後も取り組んでいきたい。</p>

7.-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0 件	
事故報告件数	0 件	

*家族より法人外事業所に対しての相談があり、記録のみ実施 1 件

《総評》

令和 5 年 4 月、利用数 68 名、令和 6 年 3 月 75 名と徐々に利用数は増加している。今年度は利用者月平均 70 名を目標に取り組み、10 月に目標数に届いた。その後、減少する月もあったが、年度を通して順調に伸びている。また、重度の利用者への支援も増えており、バランスよく稼働できている。

今年度は、松山市の運営指導があり、帳票類の確認や見直しができる。概ね良好の指導結果となり、居宅介護支援業務への自信にもつながった。

これまでは、職員の入れ替わりが何度かあり、業務が落ち着かないこともあったが、現在は人員も安定し、業務内容についても職員間で話し合い進めることができています。今後もしっかりとコミュニケーションをとり、安定した働きやすい職場環境を維持していきたい。

社会情勢にあったケアの在り方、病態別ケア、家族形態や家族心理にも踏まえたケア等、より丁寧できめ細かい支援を心掛け、法人内事業所、また、関係事業所との連携を図っていきたい。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8.-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
消防訓練 (消火・通報・避難)	令和5年9月28日 15:00～15:50	120名	松山市南消防署東部支署職員及び ALSOK 警備員の派遣あり、全員参加にて 1F 南東リネン庫出火(火災)を想定した消火・通報・避難訓練を行った。
地震訓練 (シェイクアウトえひめ)	令和5年12月18日 11:00～11:10	140名	シェイクアウトえひめに参加、在館者が一斉に安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かないを1分間」をとった。
水害訓練・消火器訓練	令和5年12月18日 11:10～11:30	職員10名	床上浸水が発生したと想定し訓練を実施。避難誘導と備蓄確認を行った。また、併せて消火器・屋内散水栓の場所・使用方法と避難経路の確認を行った。
夜間火災想定訓練 (通報・非常招集)	令和5年12月18日 19:30～20:00	職員50名	夜間火災想定での通報及び非常招集訓練を行った。
防犯訓練	令和6年2月22日 14:00～15:00	職員15名	松山南警察署職員の協力のもと、不審者が侵入してきた場合を想定した対応訓練を行った。

8-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催(1回/月)

法人合同衛生委員会開催(令和5年7月)

② 職員研修の実施

○感染症について

実施月	内容	参加者	研修内容	備考
6月	食中毒勉強会	14名	食中毒の予防について、普段の業務で注意すること	資料全職員配布
8・9・10月	感染症対策訓練	47名	コロナ感染状況・施設内集団感染振り返り、医療廃棄物の処理方法、防護具着脱訓練	資料全職員配布
1月	感染症対策勉強会	16名	冬季に流行する感染症と対策について、尿路感染について	資料全職員配布

○メンタルヘルスについて

実施月	内容	参加者	内容	備考
6月	新任職員面談	5名	こころ塾専任カウンセラーによる個別面談	
9月	ストレスチェック	81名	全職員に対してストレスチェックを実施	
1月	メンタルヘルス研修	24名	職場の円滑なコミュニケーション(こころ塾主催)	

令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置付けが2類相当から5類に変更されたが、国内の感染状況は大きく変わらずであった。1年を通して、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行が続いていたため、感染の動向や対策については、朝礼、運営会議、衛生管理・感染症防止委員会、各事業所のユニット会にて、情報共有・注意喚起を行った。今年度より取り組んだ感染症対策訓練については、3回に分けて開催し、より多くの職員が参加することができた。

メンタルヘルスについて、職員対象のストレスチェックは例年通り実施した。高ストレス者は81名中10名おり、全体の12.3%であった。前年度は17.1%であったため、やや減少したが、項目別の結果では、同僚や家族、友人に相談できず、ストレスを抱

え込んでいる職員が多い傾向がみられた。1 月にはこころ塾主催のメンタルヘルス研修を開催することができ、職場内のコミュニケーションにいて学び、働きやすい職場について考える機会となった。その他、メンタルヘルスについて対応が必要なケースについては、個別に外部委託機関(こころ塾)を活用するよう働きかけを行った。

③ 感染症報告

<インフルエンザ>

11 月 7 日より利用者、11 月 9 日より施設職員に対するワクチン接種を実施。インフルエンザについては、全国的に前年度よりも罹患者が増え、感染拡大が懸念されたが、コロナウイルス感染症対策の継続効果もあり、施設内での感染拡大は認めなかった。

	利用者					職員				
	GH	特養	SS	有料	他	GH	特養	SS	有料	他
A 型	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
B 型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0

※GH(グループホーム) SS(ショートステイ)

<新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症について、ワクチンの施設内集団接種を、利用者は 7 月と 12 月、職員は 6 月と 12 月に実施した(6 回目・7 回目接種)。しかし、6~7 月には介護付有料老人ホームにおいて入居者 7 名職員 9 名の施設内感染が発生し、8 月には、小規模特養養護老人ホーム(東・西ユニット)・介護付有料老人ホームにおいて入居者 12 名職員 9 名の集団感染が発生した。令和 5 年度に感染リスクの発生による対策実施回数は 15 回で、その全対策実施期間の延べ日数は 86 日間と長期間に渡った。また、施設内における年間の新型コロナウイルス感染者数は、入居者 33 名、職員 32 名(合計 65 名)であり、昨年の入居者 10 名、職員 23 名を大きく上回った。

<その他>

ノロウイルスなど、施設内での他の感染症の発症は認めなかった。

<まとめ>

前年に続き、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行がみられ、当施設においても、国・県内の感染状況を確認しながら、対応を検討し感染対策を継続してきた。重症化リスクの高い高齢者が、施設で安心して穏やかに日常生活を続けることができるよう、今後も継続的に感染対策研修を実施し、各職員が感染症についての正しい知識と技術を身に付け、継続して感染回避行動や感染予防対策を徹底できるよう努めていきたい。また、職員が日々のストレスと上手く向き合い、モチベーションを維持しながら、心身ともに健康に業務に携わることができるよう、職員に対する取り組みについても検討していきたい。

8.-3 褥瘡対策

① 褥瘡対策委員会の開催(毎月) ※褥瘡発症者 1 名

毎月入居者の褥瘡発生予備軍を抽出し対応を検討している。

表皮剥離などステージが軽い時期に早期の対応を行うことで、重症化することなく治癒できている。また、個人の肌質にあった保湿に努めながら、症状改善に至らない場合は皮膚科への相談、受診を行っている。

8.-4 権利擁護・苦情解決

① 権利擁護苦情相談委員会の開催

令和5年10月5日(ガリラヤ荘合同) 出席者3名 職員9名

令和4年度苦情件数 特養1件 通所1件

8-5 身体拘束・高齢者虐待対策

① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(年4回)

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

毎月チェックリストを用いて、日常のケアの中において、不適切ケアや行動を制限する目的で実施された行為がないかを確認した。また、各事業所の会議においても、委員会の開催や年2回の研修にて、身体拘束適正化、高齢者虐待防止の意識づけを行った。施設全体での委員会は年4回開催(内1回は書面開催)し事例検討等行い情報共有を図った。

8-6 栄養対策

① 給食委員会の開催(書面開催)

残食調査を毎食実施し、残食の多い献立は提供頻度を減らすほか、食べやすいように調理法や味付けに工夫している。また、各事業所からの意見聴取、各要望にも可能な限り対応し、利用者により一層満足していただける食事提供に努めた。

8-7 事故対策

① 安全委員会の開催(年4回)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行いながら、ケア方法の見直しや環境整備に努めた。入所者(入居者)の状態・状況が事業所によって異なるため、半年ごとに発生した介護事故を集計、分析し検討を行った。それぞれにおいて重点的に注意すべき事故の考察、対策を行うことで事故の発生予防に努めた。今後も事故検討や集計、分析を行い、対策の実施、評価、再検討を行うことで、介護過誤の発生予防に努めたい。

② 事故・ヒヤリハット報告

今年度の事故・ヒヤリハットについて、それぞれの集計結果を報告する。なお、事故報告は、ヒヤリハットを除く全ての事故報告を集計している。

月別発生件数(事業所別)

月	グループホーム	小規模特養	短期入所	介護付有料	計
4月	5	13	2	12	32
5月	4	20	7	17	48
6月	12	14	6	20	52
7月	9	13	7	15	44
8月	19	14	6	27	66
9月	15	14	8	15	52
10月	11	22	5	17	55
11月	6	9	9	16	40
12月	13	22	14	18	67
1月	10	18	13	13	54
2月	10	22	9	10	51
3月	13	21	5	11	50
総計	127	202	91	191	611

II 内容別発生件数

事故内容	件数
内出血	254
転倒	122
服薬ミス	76
転落	38
その他	36
剥離	32
擦過傷	30

III

報告レベルの内訳

誤嚥	9		
裂傷	6	未遂以外の事故(怪我なし)	599
対人トラブル	4	バイタル異常・看護師の処置	
その他	4	病院受診(異常なし)	6
その他	4	病院受診(怪我あり)(再受診必要)	4
総計	611		
IV		病院受診(入院加療が必要)	2
V		後遺症が残るあるいは死亡	0
総計			611

「ヒヤリハット件数」

	件数
転倒未遂	109
転落未遂	72
服薬ミス未遂	26
対人トラブル未遂	17
誤嚥未遂	11
設備・環境の不具合	10
異食未遂	6
食事提供ミス未遂	3
他	95
総計	349

事業所別	転倒 (未遂)	転落 (未遂)	服薬 (未遂)	対人トラブ ル(未遂)	誤嚥 (未遂)	設備環境 の不具合	異食 (未遂)
小規模特養	17	16	7	0	2	2	0
ショートステイ	24	24	7	0	3	6	4
グループホーム	8	13	7	0	1	0	1
介護付有料	60	19	5	17	5	2	1
総計	109	72	26	17	11	10	6

事業所別	食事提供 ミス(未遂)	他	計
小規模特養	1	9	54
ショートステイ	1	21	90
グループホーム	0	23	53
介護付有料	1	42	152
総計	3	95	349

IV受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	発生日	内容	受診	市報告	受診結果	入院の有無
特養	5/7	転落	5/7	5/9	右額打撲・裂傷	なし
短期	11/14	転倒	11/16	11/19	打撲	なし
グループホーム	11/18	転倒	11/18	11/20	頭皮下出血	なし
介護付有料	12/2	転倒	12/2	12/4	頭部外傷	なし
グループホーム	2/21	転倒	2/22	2/22	異常なし	なし
短期	3/1	転落	3/1	3/4	左大腿骨転子部骨折	入院
特養	3/21	転落	3/21	3/21	打撲	なし

	受診件数	市報告件数
グループホーム	2	2
小規模特養	2	2
ショートステイ	2	2
介護付有料	6	1
総計	12	7

(考察)

ヒヤリハット件数は前年度の 326 件から 349 件に増加。内訳として、対人トラブルは 24 件減少しているものの、その他の件数が 34 件増加し、多種多様な報告が増えていることが原因と考えられる。

事故報告件数も前年度 401 件から 611 件と増加。特に内出血と転倒が増加している。介護付有料では転倒の割合が高くなっているが、その他の事業所では内出血の割合が高く、特に特別養護老人ホームでは半数以上の割合を占めている。これについては、皮膚トラブルの増加もさることながら、皮膚状態の観察がこまめに行なわれ、変化があったものを全て報告していることも件数が増加している一因となっている。今後は報告があった内容を集約、分析し、症状だけにとらわれず、原因について検討を行い、皮膚トラブルの減少に努めたい。

転倒については、介護付有料老人ホームでの割合は最も高く、ヒヤリハット件数で見ても転倒、転落の順で多くなっている。また受診等を要する重大事故の原因も全て転倒・転落となっている。

今後も事故防止委員会での事例検討会および個別事例でのケース検討、全体状況での対応検討を行うことで、事故防止に努めていきたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	各事業所行事	実習等受入
4	入職式 ふらりカフェ	[特]お花見昼食会/花見散歩 [GH]フラワーアレンジメント 芋の苗植え [有]お花見散歩、お花見弁当、フラワーアレンジメント	
5	町内清掃(久米地区) 運営推進会議 消防設備点検	[特]若葉昼食会/母の日お祝い/ 動物園へ行こう [GH]花木センタードライブ [有]母の日お祝い会、若葉昼食会	松山学院高等学校(福祉科) 河原医療大学校(看護学科)
6	職員会 人事考課(夏期) 新型コロナワクチン集団接種	[特]父の日お祝い(手作りおやつ)/あじさいを見に行こう [GH]運動会 手作りおやつ [有]あじさいドライブ、父の日お祝い会 101歳お祝会	
7	運営推進会議	[特]七夕飾り作り/そうめん [GH]おやつ作り(かき氷) スイカ割り [有]	河原医療大学校(看護学科) 愛媛県立東温高等学校(普通科)
8		[特]すいか割り [GH](感染対策の為中止) [有]	愛媛県立医療技術大学実習(看護学科) 松山学院高等学校(福祉科) 久米中学校職場体験
9	運営推進会議 入居者レントゲン検査	[特]芋炊き/敬老会/お月見団子作り [GH]敬老会 [有]敬老会	久米中学校職場体験 松山学院高等学校(福祉科)
10	消防訓練(総合) 松山市運営指導(介護付有料・居宅) 地方祭(神輿・獅子舞)	[特]ミニ運動会/秋祭り [GH]]フラワーアレンジメント コスモスドライブ [有]運動会、コスモスドライブ	松山学院高等学校(福祉科) 聖カタリナ大学(看護学科)
11	運営推進会議 ふらりカフェ	[特]クリスマス飾りつけ/映画鑑賞/紅葉を見に行こうドライブ [GH]おやつ作り [有]文化祭	松山学院高等学校(福祉科) 聖カタリナ大学(看護学科)
12	職員会 人事考課(冬期)	[特]忘年会/クリスマス会 [GH]干し柿作り	

	松山市運営指導(小規模特養) 地震訓練(シェイクアウトえひめ) 水害訓練・消火器訓練 夜間火災想定訓練 大掃除 餅つき	[GH]忘年会/クリスマス会 [有]忘年会、クリスマス会	
1	運営推進会議 館内 Wi-Fi 設備工事	[特]初詣に行こう/カラオケ大会 [GH]新年会/新春茶会/初詣 [有]初詣、新年会、書初	聖カタリナ大学(看護学科)
2	館内 Wi-Fi 設備工事 眠りスキャン導入(小規模特養・ショートステイ) 防犯訓練 ふらりカフェ	[特]豆まき/バレンタイン [GH]節分豆まき/バレンタイン手作りおやつ [有]節分、バレンタイン	松山学院高等学校(福祉科) 聖カタリナ大学(看護学科)
3	職員会	[特]ひなまつり会/ホワイトデーイベント [GH]ひなまつり/菜の花ドライブ [有]菜の花ドライブ	松山学院高等学校(福祉科)
他	通年		委員会活動
	各事業所での誕生日会(昼食会) 各事業所でのイベント食(昼食会) おやつ・お茶の時間 レクリエーション(散歩・体操・音楽・風船バレーなど) 訪問理美容(3か所) 訪問マッサージ(随時) 訪問歯科診療(随時) 医師の回診 嘱託医2名 訪問販売(とくし丸、パン)		運営委員会 安全(事故防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 各事業所スタッフ会議
	ボランティア等		
	[個人:定期] 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止	[団体:定期] 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止	[個人:随時] 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止

10.施設内、施設外研修の状況

【施設内研修】

	研修名	参加人数
4	新任/現任者研修(身体拘束虐待防止・リスクマネジメント・感染・苦情・基礎介護等)※11日間	8名 (新卒3名・既卒3名・技能実習生2名)
5	第1回身体拘束虐待防止研修	24名
6	衛生管理:食中毒	14名
	基礎介護(排せつ研修)	15名
	移乗リフト研修	14名
	バーセルインデックス研修	8名
7	第1回リスクマネジメント研修	書面開催
8	感染対策訓練①	13名
9	感染対策訓練②	21名

	研修名	参加人数
10	ノーリフティング全体研修	31名
	感染対策訓練③	13名
1	ノーリフティング個別研修①	14名
1	看取り介護研修	18名
12	ノーリフティング個別研修③	13名
	衛生管理(感染症)研修	16名
	法令順守・守秘義務研修	22名
1	ノーリフティング個別研修③	10名
	メンタルヘルス研修	24名
	第2回身体拘束虐待防止研修	19名
2	看取り(死生観)研修	31名
3	第2回リスクマネジメント研修 接遇研修	書面開催 26名

【施設外研修】

研修項目	GH		小規模特養/SS		介護付有料	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護	3	3	11	15	5	6
看護・保健・医療	0	0	1	1	0	0
防災・防犯	0	0	0	0	0	0
人材育成・マネジメント	1	3	7	13	1	3
専門(スキル向上・資格等)	0	0	13	13	4	4
行政(介護保険・制度他)	0	0	6	7	0	0
財務会計	0	0	0	0	0	0
人事・労務管理	0	0	3	3	1	1
小計	4	6	41	52	11	14

研修項目	デイサービス		居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護	1	1	1	1	21	26
看護・保健・医療	0	0	0	0	1	1
防災・防犯	0	0	0	0	0	0
人材育成・マネジメント	1	1	0	0	10	20
専門(スキル向上・資格等)	2	2	18	20	37	39
行政(介護保険・制度他)	1	1	0	0	7	8
財務会計	0	0	0	0	0	0
人事・労務管理	0	0	0	0	4	4

小 計	5	5	19	21	80	98
-----	---	---	----	----	----	----

11.職員の状況

部門等	前年度末	令和5年度当初			令和5年度中の状況			令和5年度末	常勤換算
		入職 (4.1付)	異動 (4.1・5.1付)	職員計	入職	異動	退職		
グループホーム	15	0	3/-4	14	0	0	2	12	11.9
特養/短期	37	3	2/-2	40	2	1	4	39	34.4
(介護職)	22	3	2/-2	25	1	1	3	24	23.4
(看護職)	4	0	0	4	0	0	0	4	3.8
(その他)	11	0	0	11	1	0	1	11	7.2
介護付有料	19	1	2/-1	21	1	-1	2	19	16.7
(介護職)	15	1	2/-1	17	1	-1	2	15	13.2
(看護職)	2	0	0	2	0	0	0	2	2
(その他)	2	0	0	2	0	0	0	2	1.5
デイサービス	7	1	0	8	0	0	2	6	6.4
居 宅	2	0	0	2	0	0	0	2	2
計	80	5	7/-7	85	3	1/-1	10	78	71.4

医師等嘱託契約者の数は含めず【医師2名、歯科衛生士1名、作業療法士2名(デイ/特養/介護付有料)】

12.サービス別 利用状況一覧

小規模特別養護老人ホーム		定員29名・3ユニット（ユニット定員10名（1ユニットのみ9名））											
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
総計	平均介護度	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.43
	延べ利用人数	815	882	845	860	866	841	888	852	858	883	841	10,325
	平均利用人数/1日	27.17	28.45	28.17	27.74	27.94	28.03	28.65	28.40	27.68	28.48	29.00	28.2
	稼働率	93.7%	98.1%	97.1%	95.7%	96.3%	96.7%	98.8%	97.9%	95.4%	98.2%	100.0%	99.4%

ショートステイ		定員10名・1ユニット（ユニット定員10名）												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
要介護	利用実人数	24	24	24	21	14	22	23	25	27	27	32	42	25.4
	利用延べ人数計	227	276	254	262	224	236	222	256	264	253	231	287	2,992
	平均介護度	2.70	2.70	2.70	3.00	3.00	3.20	3.30	3.00	3.20	3.30	2.90	2.70	2.98
	平均利用人数/1日	7.57	8.90	8.47	8.45	7.23	7.87	7.16	8.53	8.52	8.16	7.97	9.26	8.17
要支援	利用実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.17	
	利用延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	
	平均介護度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4	0.07	
	平均利用人数/1日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.06	0.01
総計	平均介護度	2.70	2.70	2.70	3.00	3.00	3.20	3.30	3.00	3.20	3.30	2.90	2.70	2.98
	延べ利用人数	227	276	254	262	224	236	222	256	264	253	233	289	2,996
	平均利用人数/1日	7.57	8.90	8.47	8.45	7.23	7.87	7.16	8.53	8.52	8.16	8.03	9.32	8.18
	稼働率	75.7%	89.0%	84.7%	84.5%	72.3%	78.7%	71.6%	85.3%	85.2%	81.6%	80.3%	93.2%	81.9%

グループホーム		定員18名・2ユニット（ユニット定員9名）												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
総計	平均介護度	2.80	2.90	2.80	2.80	2.80	2.80	2.90	3.00	3.00	2.90	2.90	3.00	2.88
	延べ利用人数	527	558	539	558	558	540	539	483	529	532	517	547	6,427
	平均利用人数/1日	17.57	18.00	17.97	18.00	18.00	18.00	17.39	16.10	17.06	17.16	17.83	17.65	17.6
	稼働率	97.6%	100.0%	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	89.4%	94.8%	95.3%	99.0%	98.0%	97.6%

